

43市町村の魅力紹介

～職員採用～

目 次

建制順	団体名	郵便番号	住所
1	鹿児島市	892-8677	鹿児島市山下町11番1号
2	鹿屋市	893-8501	鹿屋市共栄町20番1号
3	枕崎市	898-8501	枕崎市千代田町27番地
4	阿久根市	899-1696	阿久根市鶴見町200番地
5	出水市	899-0292	出水市緑町1番3号
6	指宿市	891-0497	指宿市十町2424番地
7	西之表市	891-3193	西之表市西之表7612番地
8	垂水市	891-2192	垂水市上町114番地
9	薩摩川内市	895-8650	薩摩川内市神田町3番22号
10	日置市	899-2592	日置市伊集院町郡一丁目100番地
11	曾於市	899-8692	曾於市末吉町二之方1980番地
12	霧島市	899-4394	霧島市国分中央3-45-1
13	いちき串木野市	896-8601	いちき串木野市昭和通133番地1
14	南さつま市	897-8501	南さつま市加世田川畑2648番地
15	志布志市	899-7192	志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
16	奄美市	894-8555	奄美市名瀬幸町25番8号
17	南九州市	897-0392	南九州市知覧町郡6204番地
18	伊佐市	895-2511	伊佐市大口里1888番地
19	始良市	899-5492	始良市宮島町25番地
20	三島村	892-0821	鹿児島市名山町12番18号
21	十島村	892-0822	鹿児島市泉町14番15号
22	さつま町	895-1803	さつま町宮之城屋地1565番地2
23	長島町	899-1498	長島町鷹巣1875番地1
24	湧水町	899-6292	湧水町木場222番地
25	大崎町	899-7305	大崎町假宿1029番地
26	東串良町	893-1693	東串良町川西1543
27	錦江町	893-2392	錦江町城元963番地
28	南大隅町	893-2501	南大隅町根占川北226番地
29	肝付町	893-1207	肝付町新富98
30	中種子町	891-3692	中種子町野間5186
31	南種子町	891-3792	南種子町中之上2793-1
32	屋久島町	891-4292	屋久島町小瀬田849番地20
33	大和村	894-3192	大和村大和浜100
34	宇検村	894-3392	宇検村湯湾915
35	瀬戸内町	894-1592	瀬戸内町古仁屋船津23番地
36	龍郷町	894-0192	龍郷町浦110番地
37	喜界町	891-6292	喜界町大字湾1746番地
38	徳之島町	891-7192	徳之島町亀津7203番地
39	天城町	891-7692	天城町平土野2691-1
40	伊仙町	891-8293	伊仙町大字伊仙1842番地
41	和泊町	891-9192	和泊町和泊10
42	知名町	891-9295	知名町知名1100
43	与論町	891-9301	与論町茶花1418番地1

※ 未掲載の団体につきましては、現在準備中です。

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	547.61
人口	595,042
男	277,453
女	317,589
世帯数	303,912

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	5,795
一般行政	2,823
教育	537
消防	526
公営企業等	1,909
平均年齢	41.9

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	<p>鹿児島市は、桜島や錦江湾に代表される豊かな自然、個性あふれる歴史・文化など素晴らしい特性を有し、60万市民の生活を支え、来街者を楽しませる多様な都市機能が集積する南九州の中核都市としてこれまで着実に発展してきました。</p> <p>子育てや教育環境の充実、保健衛生・防災対策など、市民の方々身近なことから、国内外の都市との多彩な交流や歴史・自然・文化や食など、本市ならではの魅力を世界に向けて効果的に広く情報発信するなど、世界を見据えたことまで、職員一人ひとりが、行政のプロ・まちづくりの担い手であるという使命感と誇りを持ち、業務に取り組んでいます。</p>	<p>主なイベント (年間行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島マラソン ・ かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ・ おはら祭 ・ 錦江湾潮風フェスタ ・ 天文館ミリオナーション
目指すまちの姿 (ビジョン)	<p>「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」</p> <p>人口減少等の環境変化に的確に対応し、将来にわたり持続可能なまちをつくりあげていくために、さまざまな交流を通じ、相互のつながりを深めることにより、新たな価値が生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市を目指していきます。</p>	<p>求める職員像</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公正で誠実な職員 ②市民と協働する職員 ③積極果敢にチャレンジする職員 ④経営感覚を持った職員 ⑤活力ある職場づくりに貢献する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務	平成27年度 / 獣医師
志望した理由	<p>前職で県外に出たことで、地元である鹿児島市で働きたいという思いが強くなり、地域のため、身近な人たちのために働く市役所職員であれば、より一層やりがいを感じることができると思い、鹿児島市役所への転職を決断し、志望しました。</p>	<p>卒業後は「地元の鹿児島市で働きたい!」と決めていて、鹿児島市役所の獣医師職がどんな業務をしているか詳しく調べないままに受験をしたので、生活衛生関係の業務以外に、牛の繁殖にかかわる畜産の業務や食肉検査などの業務があることに驚きました。</p>
入ってみたいこんな職場	<p>金融機関で7年間働き、令和4年4月に社会人経験者枠で採用されました。</p> <p>認知症支援室に配属となり、認知症の普及・啓発に向けた取り組み、高齢者虐待の対応、成年後見制度に関する業務を担当しています。</p> <p>前職と異なる分野ですが、関連団体や民間企業等と連携した取り組みを展開する業務も担当しているため、前職での経験と共通している点もあります。</p>	<p>現在配属されている生産流通課では、受精卵移植事業 (肉質が良いなど血統の優れた牛から受精卵を採取し、市内の農家さんが飼っている牛に移植して、改良をすすめる事業) や家畜防疫対策事業 (家畜の伝染病等の発生・まん延を未然に防ぐために、農家を巡回し、予防注射等に対する補助を行う事業) 等を担当しています。</p> <p>生産流通課は獣医師職だけでなく、いろいろな職種の方と関わりがあります。職種の違いで壁はなく、幅広く情報共有ができ、楽しい職場です。</p>
仕事のやりがい (印象に残っていること)	<p>市役所には数多くの部署があるため、業務を通じて、市民 (家族やお世話になった人も含めた) との繋がりを実感できる魅力があります。</p> <p>私には認知症の祖母がおり、実際に症状が進行していく姿を見ることができました。その経験があったことから、自分の立場で何かできることはないかと考えながら、業務に専念しています。</p> <p>自分が担当している業務が、どこかしらで身近な人に関係していると実感することができるため、責任感を持って仕事に励めます。</p>	<p>畜産農家を巡回するなど現場での仕事も多く、直接農家さんからお話をうかがうことができます。自分が移植した受精卵の子牛が生まれた時など、携わった仕事で感謝された時は特にやりがいを感じます。</p>
先輩職員からメッセージ	<p>鹿児島市の変わらない良さを活かしながら、時代と共に変わり続ける課題に対して、働きかけることのできるやりがいのある仕事です。ぜひ、鹿児島市役所職員として、一緒に働きましょう。</p>	<p>鹿児島市役所では、他の公務員獣医師では経験できない幅広い業務があり、さまざまな経験ができるので、とても楽しいです♪</p> <p>さらに、獣医師としてのやりがいを感じながら、自分の時間をもつことのできることで、趣味や家族との時間も大切にできる点も魅力のひとつです。</p> <p>ぜひ一緒に鹿児島市で働きましょう!!!</p>

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<p>○新規採用職員へのサポート 採用されてから1年間は職場の先輩職員1人が身近な相談役としてサポートします。また、所属係長や保健師との定期面談もあります。</p> <p>○充実した研修制度 新規採用研修、採用年数に応じた研修、職位 (主査、係長、課長等) に応じた研修のほか、海外派遣研修も行っています。</p> <p>○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏期休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。なお、令和5年度の男性の育児休業取得率は74.6%です! (女性は100%です。)</p> <p>○各種手当 住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当及び勤勉手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。また、獣医師は、支給要件に応じて初任給調整手当が支給されます。</p>
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	448.15
人口	99,654
男	47,748
女	51,906
世帯数	51,145

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	760
一般行政	558
教育	126
消防	0
公営企業等	76
平均年齢	43.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿屋市は本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、人口は約10万人で古くから大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点として役割を担っています。 市の北部には壮大な高隈山系が連なり、西部は、鹿児島湾に面して美しい海岸線が見られ、南部は、吾平山上陵を有する山林地帯となっております。 1年を通じて温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、第1次産業を基幹産業として全国でも有数の食料供給基地を形成するとともに、日本最大級の『かのやばら園』や国立大学法人鹿屋体育大学などの施設も集積しています。	主なイベント (年間行事)	4～5月・10～11月…かのやばら祭り (日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」で、春と秋の開花シーズンに合わせて開催されます。) 4月…エアーメモリアルinかのや (海上自衛隊鹿屋航空基地の開隊記念日に合わせて、航空ショーをメインに開催されるイベントです。) 8月…かのや夏祭り (南国情緒豊かで陽気なハンヤ節に合わせて市街地を踊り練り歩く「総踊り」など、夏の風物詩として多くの人々にぎわいます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市かのや」 基本目標① やってみたい仕事ができるまち 基本目標② いつでも訪れやすいまち 基本目標③ 子育てしやすいまち 基本目標④ 未来につながる住みよいまち 基本目標⑤ ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち	求める職員像	①新たな時代の変化を的確に捉え、積極果敢に挑戦する職員 ②経営型行政の実現を目指し、自己変革に努める職員 ③市民と協働で活力に満ちた魅力ある地域を創造する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種		
志望した理由	鹿屋市ホームページに「先輩職員の声」を動画で掲載しています。ぜひ御覧ください。 【掲載ページ】 鹿屋市ホームページ(https://www.city.kanoya.lg.jp/) ホーム > 市政情報 > 職員・給与 > 職員採用 > 鹿屋市職員募集 > 先輩職員の声	
入って見たらこんな職場		
仕事のやりがい (印象に残っていること)		
先輩職員からメッセージ		

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ジョブトレーナー制度 入庁後1年間、同じ部署に所属する比較的年齢が近い職員が「ジョブトレーナー」として、新規採用職員をしっかりサポートします。業務以外も含めて、何か分からないことがあればすぐに相談できる体制を整えています。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワークや時差出勤が可能です。 ○資格取得の促進 対象資格を取得した場合、受験料や資格取得のための学費などの一部を助成し、職員の専門性の向上や自己啓発の取組を支援しています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	74.78
人口	19,235
男	8,847
女	10,388
世帯数	10,368

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	318
一般行政	179
教育	25
消防	42
公営企業等	72
平均年齢	40.7

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県薩摩半島の南端に位置する当市は、東は南九州市知覧町、北は南九州市川辺町および南さつま市加世田、西は南さつま市坊津町に接し、南は広大な東シナ海に臨む景勝の地にあり、その形状はほぼ五角形です。 市域は、東西12km、南北10kmで、面積74.78平方キロメートルとなっています。 当市の地勢は、市の北部にある主峰蔵多山から東西に延びる周辺の山地と、花渡川流域の中央平地や国見岳の南麓に広がる東西の両台地、それに枕崎港を中心とする海岸線に区分されます。	主なイベント (年間行事)	5月…こどもの日かつおまつり こどもの日と初鰯の時期が重なることから、子どもの健やかな成長を枕崎特産の縁起魚「かつお」にあやかるよう始められた祭りです。かつお一本釣り大会や鰯節削り大会など、枕崎ならではの催し物が開催されます。 8月…さつま黒潮「さばらん海」枕崎港まつり 「さばらん海」は昭和26年8月から航海の安全と大漁、五穀豊穰、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた南薩摩最大の夏祭りです。 まつりのフィナーレを飾る三尺玉花火の打ち上げは九州で最大級。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「活力ある地場産業に支えられ 人情味あふれる 安らぎと潤いのある枕崎市」 「すべての人々が健康で幸せに育ち・住まい・活動し・集い・憩い・交流する環境が整ったまち」をつくるため、それぞれの場面に必要な施策を切れ目なく繋げながら「豊かな自然環境の中で過ごすことで心身の安寧を保ち、活力のある地場産業に支えられ着実に進歩することで、安定した潤いのある未来を見通せる暮らしを築いていける枕崎市」を追求していくことを基本理念としています。	求める職員像	①市民志向：市民の満足を最優先に考える職員 ②創造・挑戦：創造と改革に挑戦する職員 ③自立：プロ意識を持ち、自ら考え、主体的に行動する職員 ④優れた経営感覚：効率的な仕事をとする職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和2年度 / 一般事務職	平成29年度 / 土木技師
志望した理由	枕崎市に生まれ育ち、県外に進学・就職していました。しかし、一度地元を離れたことで、改めて枕崎の魅力を再認識しました。そこで、自分が県外で学んだ知識や経験を故郷である枕崎市の為に活かしたいと考え、枕崎市役所職員として働くことを志望しました。	きっかけは、道路の脇で三脚に大きな機械を乗せて何かをのぞいている作業風景を見かけたことです。初めて目にするその作業風景が不思議で興味をもちました。 それから土木を学べる高校へ進学し、市役所にも土木技師という職業があることを知り志望しました。
入ってみたらこんな職場	市役所に入庁する前は「公務員＝堅苦しい」という先入観を持っていました。事実として、業務の中には堅苦しい部分もあります。しかし、職員一人一人や職場の雰囲気も堅苦しいかというようではありません。 職場には、肩書きや年齢差に関係なく、互いに助け合う文化が根付いています。枕崎市民のために職員全員が連携し、それぞれの個性や適性を活かしながら、ひとつのチームとして業務に当たっている印象です。	設計書や図面の作成だけでなく、工事の発注、契約業務や補助金事業、施設の管理など、幅広い業務に携わります。業務を進める上で、民間企業や工事対象エリアの住民などさまざまな立場の人の間に立って調整する必要があるため、円滑なコミュニケーションが求められる職場だと思いました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	業務を行う中で、市民の方から「ご苦労様」「ありがとう」など声を掛けていただく機会が多くあります。このようなときに自分と地域とのつながりや、自分の仕事市民の役に立っているという実感を得ることができ、日々の業務のモチベーションにつながっています。	業者の方々と一緒に悩みながら試行錯誤して完成した現場で、「便利になった」、「きれいになった」など感謝の言葉をいただくことがあります。仕事の成果が目に見えることがやりがいであり魅力だと感じています。
先輩職員からメッセージ	枕崎市役所には頼りになる先輩や上司がたくさんいます。新規採用職員を含めた若手職員に対するサポートは特に手厚く感じます。行政職に不安を抱えている方も、「枕崎の為に何かをしたい」という気持ちだけをもって枕崎市役所に来ていただければと思います。私を含めた職員が全力でサポートします。	市役所の仕事は驚くほど多種多様です。その中でも、土木職は道路や構造物をつくっていく過程や完成した達成感など、土木職ならではのやりがいのある仕事なので、ぜひ挑戦してみてください。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 採用直後に行われる「新規採用職員等実務研修」や各種サポート研修のほか、同じ部署に所属する先輩職員が入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	329.98
人口	51,780
男	24,528
女	27,252
世帯数	25,766

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	923
一般行政	375
教育	105
消防	72
公営企業等	371
平均年齢	45.7

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	本市は、鹿児島県の北西部に位置し、陸の三方は阿久根市、薩摩川内市、さつま町、伊佐市及び熊本県水俣市に接しています。紫尾や矢筈の山々を背にし、八代海（不知火海）に面した広大な平野に多くのツルが越冬する豊かな自然と武家屋敷群をはじめとする由緒ある歴史を有するまちです。	主なイベント (年間行事)	7月…夏祭りいずみ鶴翔祭 10月…いずみマチ・テラス (出水市の人口と同規模の数である5万本以上の竹灯籠でまちを照らす竹灯籠イベントです。) 11月…出水市大産業祭 (出水市内の産業イベント。出水市の特産品だけでなく、友好都市や姉妹都市の特産品も購入できます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「みんなでつくる活力都市 住みたいまち 出水市」 人口減少と少子高齢化が進行し、大きく変化し続ける時代にあって、豊かな自然と由緒ある歴史を持つ出水市が、今後も安心して暮らせるまちであるためには、市民一人ひとりが力を合わせて、活力ある産業や支え合いのまちを創っていく必要があります。誰もが、ここに住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指します。	求める職員像	・高い志とプロ意識をもつ ・市民に寄り添う ・未来を切り拓く

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務職	令和4年度 / 建築技術職
志望した理由	大学時代にゼミで学んだ社会福祉の知識を活かし、子どもが生活しやすい地域づくりに携わりたいと考えたからです。きっかけは、学生時代に子育て支援ボランティア活動へ参加したことです。支援を必要としている保護者の方の切なる思いを耳にし、行政による環境整備が必要だと痛感しました。また、全国的に社会問題となっているいじめや児童虐待において、鹿児島県も例外でなく、年々増加傾向にあります。市職員としてこのような課題の解決に尽力し、子育てしやすいまちづくりに貢献したいと考え志望しました。	出水市の歴史ある街並みと建築物・景観をこの先の未来へ、いつまでも受け継がれるよう残し、守り続けていきたいからです。また、職員のエネルギーと市民の方々の街への愛と協働に惹かれたからです。
入って見たら こんな職場	業務にあたる中で判断に困る場合等もありますが、その都度正しい知識や根拠を確認して進めていくことで、入庁前には知る機会がなかった分野についての知見が広がりました。	厳しいイメージでしたが、実際は皆さん大変優しく和やかで、仕事も丁寧に教えてくれます。また、一つ一つの業務にも熱心で真面目さを感じています。さらに、市民の皆さんや仕事仲間など、常に相手目線に立って物事を考えられている姿も入庁して、素晴らしいと感じたことです。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	関係機関の方々と随時連携を取りながら、市政発展のために業務を行えることが魅力だと思います。また、様々な方との関わりを通じて、新たな発見や刺激を頂いています。	この仕事の魅力は、建物が完成する一連に携われることと、自分が関わった建物が地図に載ることだと思います。また、市民の皆さんが私たちの関わった建物を使用するところを見ると、より一層自分の仕事に対してやりがいを感じるができると思っています。
先輩職員から メッセージ	実際に市役所で働いてみて、入庁する前よりも今の仕事や職場環境に魅力を感じています。公私ともに充実した生活を送ることができる「ワークライフバランス」や風通しのいい職場、個性的で面白い職員もたくさんいます。多様な業務に関わりたい方、社会に新たな付加価値を生み出したい方、そして何より出水に魅力を感じている方。出水市役所でお待ちしています。	私は、歴史を大切にし、自然が美しい出水市に魅了された一人です。職員の皆さんは、そのようなまちの特性を一番考えてまちづくりをしています。歴史と自然が素晴らしく、食も魅力あふれたこのまちでぜひ一緒に建築士としてまちをつくりましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○メンター制度 ○テレワーク、時差出勤 ○年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等 ○期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給
---------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	148.82
人口	37,920
男	17,658
女	20,262
世帯数	19,729

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	455
一般行政	330
教育	75
消防	0
公営企業等	50
平均年齢	40.5

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は、薩摩半島の最南端、錦江湾口に位置し、観光業と農業が盛んな街です。 九州一の大きさを誇る池田湖、標高924メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南国ムード漂う長崎鼻、潮の干満で陸続きになる知林ヶ島を有しています。 ほかにも、世界的にも珍しい「天然砂むし温泉」や1日に10万トンも湧き出る清水を利用した「唐船峡そうめん流し」など観光資源が豊富で、年間約300万人の観光客が訪れます。	主なイベント (年間行事)	1月 いぶすき菜の花マラソン いぶすき菜の花マーチ 4月 九州オールドカーフェスタ in 開聞 6月 山川みなと祭り いぶすきフラフェスティバル 8月 かいもん夏祭り 9月 指宿温泉祭 12月 いぶすき産業まつり 山川ふるさと歳の市
目指すまちの姿 (ビジョン)	「地域資源を最大限活用」するまちづくり 「生活の質の向上」を目指すまちづくり 「人づくり」を重視するまちづくり 「一人ひとりが輝く」まちづくり を基本理念とし、『豊かな資源が織りなす食と健幸のまち』を将来都市像に掲げています。	求める職員像	“市民と共に 指宿の未来を描き 熱い情熱を持ち挑戦する” 職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務	令和3年度 / 技師 (保健師)
志望した理由	今まで培った経験を生まれ育った故郷に戻りたいと思い応募しました。また前職では休日を取得できなかったのが基本的な土日祝日が休日の公務員のライフワークに大きな魅力を感じていました。	卒業して2年間は看護師として病院で働いていましたが、入院している方だけでなく地域で生活する方の支援ができる保健師の仕事がしたいという思いはずっとありました。そんな中、保健師として働く同級生から仕事の話を聞いたり、熱心に指導してくれていた先輩看護師が保健師に転職したこと等がきっかけで「やっぱり保健師として働きたい」という思いが強くなり、保健師を募集していた指宿市を志望しました。
入ってみたら こんな職場	広報の仕事に携わっていますが、行政職の中でも異色の仕事だと思います。写真撮影や広報紙の編集作業なのでカメラや画像編集ソフトなど専門的な知識を必要とします。広報紙では各課の政策を取り上げているため、俯瞰で市役所の多くの事業を学ぶことができます。残業がほとんどなく、休日もしっかりと休めます。また、有休を5日以上取得することに職場全体が積極的で、効率的な仕事の仕方を考える環境があります。	指宿市は同じ係に保健師が複数人配置されており、困ったときや判断に迷ったときには、すぐに先輩保健師から助言をもらうことができるため、フォロー体制が整っていると感じます。さらに、入職して最初の1年は、先輩保健師が指導担当として1人付いてくれます。最初の頃は先輩と一緒に訪問や担当者会議に行き、仕事で困っているときには声をかけてくれ、何でも相談することができたため、安心して働くことができたと思います。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	初めて自分が撮影した写真が表紙を飾った時はとてもうれしかったです。取材を受けていただいた方からも広報紙に掲載してから良い影響があったと言ってもらえたり、特集などでは市の政策を市民の方に分かりやすく伝える工夫をしたり、やりがいがある仕事だと思います。	母子保健を主に担当していますが、初めての子育てに不安を抱えている方やお子さんの成長・発達を心配している方にたくさん出会います。保健師として情報提供をしたり、必要な支援につながるよう関わる中で、「〇〇が知れてよかった」「〇〇ができて安心した」と、表情が和らぐ様子が見れたり、いろんな方に見守られながらすくすくと成長し、元気いっぱい遊ぶお子さんの姿を見れたとき、心からよかったと思え、自分自身も元気をもらっています。
先輩職員から メッセージ	公務員は休日と給与が安定しており、ワークライフバランスもとれている職場だと思います。市民と関わる機会も多く、これまで学んできた経験が活かせる職業だと思います。県内屈指の観光地である指宿のために一緒に働いてみませんか。	地域の方々の生活を身近で支援するという事は、市の保健師だからこそできることだと思います。ぜひ指宿市の職員として一緒に働きましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○アロハシャツで働きやすい環境 4月末～10月までアロハシャツが市民のユニフォームになり、職員もそれに合わせてアロハシャツを着用します。 ○新規採用職員へのサポート 同じ係内で「指導担当者」がサポートする『ブラザー＆シスター制度』により、仕事などの相談をしやすくします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、賞与に結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季特別休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	162.1
人口	13,258
男	6,218
女	7,040
世帯数	7,225

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	232
一般行政	137
教育	25
消防	44
公営企業等	26
平均年齢	40.1

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	<p>当市は、恵み豊かな錦江湾と優美な桜島を目の前に望む緑豊かなまちです。大隅半島の北西部、鹿児島湾に面するほぼ中央に位置し、薩摩半島と大隅半島を結ぶ海上陸上交通の要所で大隅半島の玄関口となっています。</p> <p>道の駅たるみず湯ったり館、森の駅たるみず、道の駅たるみずはまびら、千本イチヨウ園などの観光地があり、年間を通して多くの方が訪れます。また、生産量日本一を誇るカンパチやミネラル豊富な飲む温泉水、焼酎などの特産品は、国内外問わず多くの方に親しまれています。</p>	<p>5月…垂水カンパチ祭り (垂水市の特産品である新鮮なカンパチを堪能できるイベントで、カンパチのつかみどり、解体ショー、漬け丼販売などが催されます。)</p> <p>8月…たるみずふれあいフェスタ夏祭り (会場目の錦江湾から打ち上げられる花火は迫力満点です。県内外から多くの見物客が訪れる垂水市最大のイベントです。)</p> <p>11月…たるみずふれあいフェスタ秋の産業祭 (垂水市の農産物や水産物、畜産物など垂水市の特産品の販売が行われるイベントです。)</p>
目指すまちの姿 (ビジョン)	<p>「九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち 垂水」</p> <p>市内9つそれぞれの地域特性を活かし、共につながり・支え合うとともに、豊かな自然や文化に包まれ、健やかな「心身」を保持し、いきいきと暮らしているまち、そして、豊かな自然や文化、伝統を守り、暮らしやすく活気あるまちをつくり、子どもたちへ未来のたるみずをつないでいきます。</p>	<p>求める職員像</p> <ul style="list-style-type: none"> ★市民の視点で考え、共に行動する職員 ★目的意識を持ち、創造と改革に挑戦する職員 ★経営感覚とプロ意識を持ち、主体的に行動する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成24年度 / 一般事務	平成29年度 / 保健師
志望した理由	<p>県外や海外で学生生活を送った際に鹿児島の良さを再認識し、地元での就職を考えていました。</p> <p>大好きな垂水を少しでも良くしたい、人にもそして自分にも住みやすいまちにしたいと思い、垂水市役所で働くことを決意しました。</p>	<p>私が垂水市を志望した理由は、限られた資源で相違工夫し本市の実情に合った事業を展開し、健康長寿に貢献できることに意義を感じたからです。また、災害発生時の対策や迅速な対応等の取り組み、市民の災害予防への意識に感銘を受け、保健師として本市の健康危機管理に携わりたいという思いから志望しました。</p>
入ってみたらこんな職場	<p>職員同士や住民との距離が近く、明るくアットホームな職場です。</p> <p>年代の垣根を越えてコミュニケーションがとりやすい雰囲気のため、困難に直面した際も気軽に相談することができ、働きやすい職場です。</p>	<p>周りの職員の協力があるため、子育てしながら働きやすい職場です。自分1人で解決することが困難なことも、周りがフォローしてくれるので、ワークライフバランスを保ちながら充実した毎日を過ごしています。</p>
仕事のやりがい (印象に残っていること)	<p>桜島・錦江湾ジオパーク等を活用した広域観光の推進、垂水市観光協会の運営、各種観光イベントの企画・運営、観光PRや誘致などおして本市の魅力発信し、交流人口の増加に取り組んでいます。</p> <p>自分が企画・立案した事業が形になり、市民の喜ぶ姿を見ると、やりがいを感じます。また、人事異動により数年ごとに業務内容が変わるため、常に学び続けることができ、幅広い知識と経験を得られることに魅力を感じています。鹿児島県へ2年間派遣されたことも貴重な経験になりました。</p>	<p>保健師として乳幼児期から高齢者まで様々な年代の方と関わる業務で、それぞれのライフステージにおける課題を見つながら、市民の皆さんの相談を受けたり、健康づくりのサポートを行っています。</p> <p>「たるみず元気プロジェクト」は垂水市に独自の事業でとても魅力があります。また、乳幼児期に関わった子ども達の成長に嬉しさや驚きがあり、健康づくりに取り組む高齢者の活力に、私自身も元気をもらえるためやりがいを感じます。</p>
先輩職員からメッセージ	<p>市役所の業務は多種多様に渡るため多くの知識を必要としますが、自分の成長にも繋がります。初めは戸惑うことも多いと思いますが、比較的組織の規模が小さいため、アットホームで働きやすく、能力を発揮するチャンスが多くあります。</p> <p>「垂水市を良くしたい」という熱意のある方と一緒に働けることを楽しみにしています。</p>	<p>垂水市役所には仕事に対する姿勢や気配りの面などで自分の目標になる先輩・上司がたくさんおり、一緒に働くことで自分自身の成長にもつながります。</p> <p>垂水市の職員を目指している皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。</p>

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<p>○新規採用職員へのサポート</p> <p>先輩職員が講師となる「新規採用職員研修 (年2回)」や専門カウンセラーが講師となるメンタルヘルス研修、個別メンタルヘルス相談会等を実施し、入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。</p> <p>○仕事と生活の両立</p> <p>年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等があります。また、子育てをする職員のための制度として育児休業、育児のための部分休業、育児短時間勤務などがあります。</p> <p>○各種手当</p> <p>期末・勤勉手当 (ボーナス) のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。</p> <p>○システムによる適正な労務管理</p> <p>出退勤システムにより職員の出退勤時刻を正確に把握することで長時間労働を抑制し、休暇取得を促進します。</p>
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	682.92
人口	91,542
男	44,506
女	47,036
世帯数	46,490

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	1,031
一般行政	644
教育	109
消防	158
公営企業等	120
平均年齢	43.1

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	薩摩川内市は鹿児島県西部にある本土地域と甕島からなる、都市部と田舎が程よく融合した北薩地域の中心都市です。半導体や製紙などの製造業、発電所や電気設備業、地元産品を活用した焼酎等の食品加工業などの二次産業が盛んな街です。九州新幹線が停車する川内駅と市内3箇所にICがあり福岡や鹿児島市方面へのアクセスも良好です。市内には昔ながらの温泉が湧き出ており良質な温泉を身近に楽しむことができます。若者や子育て世代が暮らしやすいまちを目指して、奨学金返還支援や高校生まで医療費無料など若者の就職や子育てへの支援が充実しています。	主なイベント (年間行事)	8月…川内川花火大会 (約1万発の打ち上げ花火が川内川の川面に映り幻想的な景色を演出します。) 9月…川内大綱引 (日本一の大綱引。2024年3月、国の重要無形民俗文化財に指定されました！) 11月…薩摩川内はんや祭り (国道3号を約1.5キロに渡り交通規制し、約5000人の踊り連で賑わいます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	地域の発展と市民福祉の向上を図りながら薩摩川内市の将来像「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」の実現をめざして、新たなまちづくりをすすめています。	求める職員像	目指すべき職員像に「薩摩川内市を愛し、市民本位のサービス改革に果敢に挑戦する職員」を掲げ、「市民志向」、「創造・挑戦」、「使命感・プロ意識」、「経営」、「コンプライアンス」の5つの具体的な目標を基に取り組んでいます。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度採用 / 一般事務	令和3年度採用 / 土木技師
志望した理由	薩摩川内市は、母親が生まれ育った街として縁がありました。薩摩川内市には、豊かな観光資源や個性的な文化があり、とても魅力的な街です。そんな薩摩川内市の職員として、市の発展にあらゆる分野で関り、市民生活の向上に尽力したいという思いから、薩摩川内市職員を志望しました。	生まれた土地で勉強してきた技術を生かしたいと思い薩摩川内市を志望しました。学生時代は薩摩川内市から離れ、他市で過ごしましたが、開発が進んだ川内駅周辺や、住んでいた家の周りが道路改良などで広がっているところを見て、薩摩川内市が住みやすく大きくなっていく事に携わりたと思ったことが志望の大きなきっかけとなりました。
入ってみたい こんな職場	上司や先輩方は優しい方ばかりで、分からないことは何度も質問できる雰囲気があります。また、動機や他部署の先輩・上司の方とも距離が近く、毎日充実しています。職員研修も充実しており、自分に必要な知識を得ることができると環境です。	技術職は思っていた通り男性職員が多く、なじむことができるか不安でしたが、上司や先輩がわからないところはとっても優しく教えてくれます。初めてのことはわかるまで教えてくれるので、お仕事をするうえでとても助かっています。また、薩摩川内市は行事が多く、花火大会・はんや祭り・大綱引き・河口マラソンなどたくさんイベントに関わることができて、知り合いも増えるとさらに楽しく活動できると思います。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	私の業務は毎日デスクワークで、パソコンとのらめっこです。しかしその中でも、日々自分の目標を達成することや、周りの方々から感謝の言葉をいただくことなど、やりがいを感じる事が多くあり、楽しく仕事ができています。これまでデスクワークが苦手ではないかと感じていた私にとって意外なことでした。	このお仕事をされていて印象に残っている瞬間は、自分が担当した公園の遊具施設を利用する人があるのを見た時です。遊具に限らず、自分が担当した工事現場などの近くを車で通るとつい見ちゃうし、これからこの土地に残っていくんだと感じてうれしくなります。
先輩職員から メッセージ	市役所職員の仕事はあらゆる分野にわたりますが、どんな業務であっても、市民生活のために誇りを持って働くことができる環境だと思います。また、様々な経験を持った職員と一緒に働いており、学びや発見も非常に多いです。ぜひ一緒に頑張りましょう。	薩摩川内市役所は同期も多く福利厚生がしっかりしていて、安心してお仕事できる場所だと思います。最初は学校で勉強しただけの私が技術職をできるのかととても不安でしたが、優しい先輩たちのおかげでお仕事ができています。ぜひ、私たちと楽しく技術のお仕事をしてみませんか。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 指導員に指名された職員が新規採用職員に適切な指導助言を行いながらサポートします。 ○資格取得助成制度 入庁してから仕事に必要な資格や免許を取得しやすいように受験経費や試験のための交通費など最大で50万円を助成しています。 ○研修制度 新規採用職員研修や勤続年数に応じた階層別研修などがあります。また、職員が自ら企画し学べる研修制度(研修のための費用を市が助成)があります。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(最大年40日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○柔軟な働き方 テレワークで自宅でも業務をすることも可能です。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	253.01
人口	46,642
男	22,158
女	24,484
世帯数	22,627

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	484
一般行政	288
教育	69
消防	81
公営企業等	46
平均年齢	42.2

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市に、北はいちき串木野市と薩摩川内市に、南は南さつま市に隣接し、また、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と東シナ海に面しています。日置市は、妙円寺詣りや流鏝馬、せつぱとべに代表される歴史的な伝統行事に、薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有しています。	主なイベント (年間行事)	6月…せつぱとべ (日吉地域：八幡神社、鬼丸神社) (白装束の若者が肩を組んで円陣を作り、水を張った田んぼの中で踊り無病息災、豊年満作を祈願します。) 10月…妙円寺詣り (伊集院地域：徳重神社) (関ヶ原の戦いで敵中突破した島津義弘公の精神と遺徳を偲び、照国神社から徳重神社まで約20kmを歩きます。) 11月…流鏝馬 (吹上地域：大汝牟遅神社) (200mの間に置かれた3つの的に目掛けて射手が馬上から弓を放ちます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」 市民が安心・安全に生活でき、また、歴史的財産や自然資源、観光資源等を生かした交流・定住人口の増加を図ります。あわせて、人の優しさや地域の温もりを感じながら、子どもから高齢者までだれもが笑顔で希望にあふれ、ともに助け合いの心を持って暮らせるまちづくりを推進します。	求める職員像	1. 全体の奉仕者として高い使命感を持つ職員 2. 地域に密着し意欲あふれる職員 3. 経営感覚のある職員 4. 市民から信頼される職員 5. 市民の立場で市民と「協働」できる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成26年度 / 一般事務	令和5年度 / 建築技師補
志望した理由	関東で大学生活を送ったことを通して、豊かな自然や伝統行事、生活のしやすさなど、それまで見ていなかった地元日置市の素晴らしさに気づけるようになりました。そういった日置市の素晴らしさや伸びしろや活かし、地元をもっと魅力的な街にしたいと思い、より幅広い分野からアプローチができる市役所を志望しました。	私は、様々な自治体を調べていくうちに日置市では、様々な政策の根本に「市民が住み続けたいと感じるまちづくり」という理念を感じることができました。私もそのような理念のもと、建築の分野で少子高齢化の進行など、社会経済情勢の変化を踏まえた、より効果的で効果的な整備を実現したいと思い志望致しました。
入ってみたいこんな職場	「公務員」に少し堅いイメージがあったのですが、実際に入ってみると、アットホームな雰囲気、面倒見のいい方が多いと感じています。 また、印象的だったのが、子供の幼稚園や小学校の行事で年休を取得できる雰囲気があることでした。業務が忙しい時期でも時間単位の取得される方もいらっしゃると思います。実際に自分自身に子供ができ、そういう休み方をさせていただき、子供の成長が実感できる機会が増えることも、今の職場の魅力だと思っています。	入庁してみたら自分が所属している係だけではなく、他の係とも交流することが多かったです。 仕事を円滑に進めるためにも、他の係とも幅広くコミュニケーションをとることが大事だと実感しました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	市の財政に係る業務と国へ出向した際の法改正に係る業務が印象に残っています。各事業の予算や決算など、市の財政の概要を把握した上で、国へ出向し、法改正の業務に携わる経験ができました。制度設計をする『国の視点』と制度を活用する『市の視点』といった双方を経験したことで、『この業務はどのような制度に基づいているのか』『実際にどう活かすか』という見方ができるようになりました。様々な制度に触れ、新たな視点が広がっていくのは一つのやりがいだと思っています。	私の仕事のやりがいは、工事監理など責任のある仕事を任せられたことです。 携わった建築物は、何十年も形として残り、市民に利用されるので、直接的に地域のまちづくりに貢献できているということもやりがいを感じる瞬間です。
先輩職員からメッセージ	私は日置市がもっともっと魅力ある街になれると思っていますし、そうしたいと考えています。しかし、当然一人では達成することはできません。魅力的な日置市になるためには、様々な価値観を持った皆さんの力が必要です。楽しく働きながら、日置市の魅力的な未来を一緒に築いていきましょう。	志望先が求める人材として、困難なことにも粘り強くチャレンジする人を求めていると思います。 試験勉強はもちろん、日頃から困難なことでもすぐに諦めず、立ち向かって自分の魅力を磨いていってください。 一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員へのサポート 先輩職員 (メンター) が双方向の対話を通じて、新規採用職員 (メンティ) のキャリア形成上の課題解決や悩みの解消を援助して個人の成長をサポートする「メンター制度」で入庁1年目の新規採用職員をしっかりとサポートします。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワークが可能です。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇 (3日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 夏季休暇について、国の制度では取得可能期間が6月～10月となっていますが、それよりも長い『年度』の期間での取得を可能としています。 男性の育児休業取得にも積極的に取り組んでおり、令和5年度の取得率は63.6%となっています。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	603.17
人口	123,979
男	60,068
女	63,911
世帯数	62,737

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	1,068
一般行政	669
教育	155
消防	184
公営企業等	60
平均年齢	43.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	霧島市は、鹿児島県の中央部に位置し、空港や高速道路、鉄道が交差する交通の要衝で、人口約12万3千人の県下第二の規模を誇る発展を続けるまちです。 数々の世界的企業が立地し、革新的な製品を産出する工業地帯であるとともに、天孫降臨神話の地としても知られ、霧島神宮の社殿の一部が国宝に、鹿児島神宮の社殿が国の重要文化財に指定されるなど、歴史や伝統、豊富な自然・観光資源を有しています。 市制施行19年を迎え、これからますます発展する可能性を秘めているまちです。	主なイベント (年間行事)	7月…霧島国分夏まつり 1日目の総おどりは、約6千人が参加し、市内商店街を踊り歩きます。2日目は、昼に御輿が順々に街を練り歩き、夜は太鼓の音に鼓舞された男達が駆け抜ける国分寺御輿競走にてまつりのクライマックスを迎えます。 2・3月(旧暦1月18日を過ぎた最初の日曜日)…初午祭 南九州に春の訪れを告げる初午祭は、家内安全、五穀豊穡、厄払いなどを祈願する伝統行事です。 20数頭の鈴かけ馬と約2千人の踊り連が太鼓や三味線の音に合わせながら一体となって踊りを奉納します。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」 多くの人の訪れが、まちに「にぎわい」をもたらします。人が安全・安心な「くらし」を享受し、人と人とのつながりを通じた支え合いの中から「やさしさ」が生まれ、家庭・地域・学校など様々な場面において人を「はぐくみ」、持続可能なまちが創造されます。 そのため、市民や企業・NPOなどの様々な主体がそれぞれの役割を担い、知恵を出し合いながら、人と人が共に地域の課題解決に取り組む「きょうどう」のまちづくりを進めるとともに、これまで以上に、市民に「しんらい」される行財政運営に努めます。	求める職員像	試験合格のノウハウに偏った人物ではなく、本市職員として働く熱意や使命感を持ち、多様化する市民ニーズに的確に対応するために、常に自己研鑽に励み、しなやかな発想ができる人物、主体性やバイタリティに富む人物を募集します。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	2015年度 / 一般事務	2019年度 / 土木技師
志望した理由	学生の頃の趣味が温泉巡りや登山だったため、霧島市の4つの温泉郷を巡ったり高千穂峰や韓国岳に登ったりしていました。大好きな自然に囲まれて仕事がしたいと思い霧島市職員を志望しました。	霧島市は、専門学校在学中の5年間で過ごした思い出の深い場所です。卒業後、民間企業で土木工事、プラント設備の建設工事を現場監督として勤めていたのですが、この経験を大好きな霧島市のために役立つことができたいと思い、志望しました。
入ってみたい こんな職場	数年に1度異動があるため、様々な分野の仕事に携わることができます。これまで私は、健康保険や広報、DXの分野に携わりました。それぞれの仕事で霧島市のために働ける喜びを感じることができそうです。 また、市役所と同じ建物に市立図書館があるので、昼休みや仕事帰りに立ち寄れますし、昼食は、市役所周辺にあるお店に食べに行ったり、市役所8階のレストランでピュウフェを楽しんだりしています。	霧島市は様々な事業に取り組んでいるため、仕事をしながら自分の能力を高めることができる職場だと感じています。自分の意見を発言しやすい職場であり、私たち技術職の場合、その意見は道路や橋梁、公園など形あるものに反映されます。技術力を高めるほど、自分が考えたものが形として残り、住みやすい街づくりにつながることを日々実感しています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	健康保険の部署では、住民の方と直接話をしながら手続きを行い、住民生活を支えるという仕事のやりがいを感じていました。現在のDXの部署では、デジタル技術を活用して職員の仕事を手助けしており、多くの職員と関わりながら問題解決をしていく楽しさを感じています。	私の職場における主な業務は、道路・水路の補修等の維持管理ですが、梅雨や台風による災害が発生した際には災害復旧事業も行っていきます。災害復旧事業は、個人が所有する農地も対象となります。本来であれば個人で復旧するところを、市が設計から工事まで行い復旧するため、農家の方から「ありがとう」という言葉をいただける機会が多く、「頑張ってたかったな」とやりがいを感じます。
先輩職員から メッセージ	市役所では部活もたくさんあり、私はバレーボール部と硬式テニス部、モルック部に入っています。社会人になっても仲間と楽しく体を動かせます。また、霧島市には鹿児島空港があるので旅行好きの方にはとても便利です。平日は霧島市のために働き、休日は霧島市の豊かな自然でリラックスして、おいしいお肉を食べるもよし、いろいろな趣味を楽しむもよし。皆さんも霧島市役所で一緒に働きましょう。	霧島市は交通の要衝であるため、小規模な修繕から大規模な工事まで様々な業務を経験でき、仕事にやりがいを感じることができそうです。また、県下第二の規模を誇ることもあり、職員数も多く、相談できる同期や頼りがいのある先輩がたくさんいます。是非、一緒に霧島市を盛り上げましょう。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○長期派遣研修 基礎自治体と異なる業務の研修を行うことにより、幅広い視野や深い思考力、高度な知識、しなやかな発想力を身につけることを目的として、国・県・他自治体等へ職員を派遣しています。 令和6年度派遣先：鹿児島県、全国市長会、地方公共団体情報システム機構、鹿児島県後期高齢者医療広域連合、鹿児島県文化振興財団(上野原縄文の森、みやまコンセル)、岐阜県海津市(姉妹都市) ○各種休暇 休暇年次有給休暇(年20日)、夏季休暇(5日)、結婚休暇(5日)、産前産後休暇、看護休暇などを取得することができます。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	283.59
人口	31,720
男	14,764
女	16,956
世帯数	16,834

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	487
一般行政	311
教育	36
消防	85
公営企業等	55
平均年齢	42.1

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県の西南端に位置し、三方を海に囲まれた自然豊かなまちで、国の名勝「坊津」や坊野間県立自然公園の指定を受けた景勝地を有しています。太平洋戦争末期には最後の特攻隊の出撃地、万世飛行場があった地でもあり、現在は、飛行場跡地に「万世特攻平和祈念館」を建立し、歴史・記憶を継承しています。観光面では、砂丘地の砂を活用した「吹上浜砂の祭典」を毎年5月に開催するほか、海山の豊かな自然を生かした各種アクティビティ、自転車を活用した特色あるまちづくりを行っています。	主なイベント (年間行事)	5月…吹上浜砂の祭典 市役所を中心とした「まちなか」で開催される、日本で最も古い歴史を持つ砂のイベント。砂だけで作られる精巧な砂像を各所に配置し鑑賞いただけるほか、各種体験コーナーやグルメ、日本遺産に登録される武家屋敷群のまち歩きなどを楽しめます。 5月…ツール・ド・南さつま 20年以上の伝統あるサイクルイベント。雄大な自然景観や起伏に富んだ走りごたえのあるコースを、各々のペースで楽しめます。沿道からの声援や充実したエイドステーションなどでの、地元住民との交流も魅力の一つです。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「住みたい 働きたい 訪れたい 誰もが主役になれる 南さつま」 住む人・通う人・想いを寄せる人、誰もが主役になれる「住みたい 働きたい 訪れたい」魅力あふれるまちづくりを力強く推進することで、次世代へつなぐ持続可能な南さつま市を目指します。	求める職員像	①市民を想い、目線を合わせ、まちのために働くことができる職員 ②夢を持ち、まちの未来を語るができる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和3年度 / 一般行政職 (企業経験者)	令和3年度 / 土木技術職 (高校卒業)
志望した理由	大学進学と共に県外へ転出し、東京・福岡で企画・営業職として働いていたところ、地元鹿児島に貢献したいという思いから転職を考えはじめ、最も直接的に活躍できるのが市役所だと思い至り、出身である南さつま市役所を志望しました。	高校で「土木」が人々の快適な暮らしを支え多くの人の生命や財産を守っていることを学び、人の役に立ち地域に貢献できる公務員の仕事に興味を持つようになりました。南さつま市に地縁はありませんでしたが、移住定住や子育て支援など積極的に取り組む様子に魅力を感じ、土木の面からインフラ整備、防災面で貢献したいと思い志望しました。
入ってみたらこんな職場	職種は一般事務職ですが、前職の経験 (企画・営業) を生かし、新規事業の企画立案にも積極的に取り組んでいます。職場内のコミュニケーションも活発で、率直な意見交換ができ、風通しの良い職場風土だと感じています。また、職場環境が良いことはもちろん、生活環境もとても落ち着いていて静かな所だと思えます。生活するには困らない位に様々なお店があるので、スローライフかつ快適な日々を送れると思います。	現在、建設部建設整備課に所属し、土木工事の設計や発注を行っており、工事が円滑に進むように業者との打合せを密にとることを心掛けています。また、高校で硬式野球部に所属していたこともあり、現在は、市役所のソフトボールチームに参加しています。学生時代と比べると体を動かす機会が減るので、とても良いいフレッシュになっていて、業務で関わる機会の少ない人との交流にも繋がっています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	1年目からでも自分が計画した事業やイベントなどに取り組める職場なので、計画が進んで形になった時に大変な事もありますが、やって良かったと感じます。例えば、農産物PRの業務で関東圏でイベントを企画することとなり、それまで都庁で行っていたイベントをより大きいものになりたいと思い、知人を介しメディアPRも見込めるTBSとのコラボ企画を実現できました。	担当する工事が完成した時にやりがいを感じます。業者と何度も打合せをし、苦労しながらも工事が完成すると、とても自分の成長を感じることが出来ます。また、工事場所付近を通るときに、市民が安全に生活しているのを見るときにもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所に転職するまで県外で企画・営業の職業を複数経験しましたが、時と共に地元に対する思いが大きくなり、子育て等のライフステージの変化に合わせて、転職を決意しました。仕事のやりがいはもちろんのこと、働きやすい環境や子育て環境など、転職をして良かったと感じています。仕事のやりがいや働きやすさなど魅力ある職場ですので、より良いまちづくりのためぜひ一緒に頑張りましょう。	初めての就職、初めての一人暮らしで当初は不安がいっぱいでしたが、先輩や同僚、地域の方々にとっても親切にしてくれ、今では公私ともとても充実した生活を送れています。工事の発注等で市民生活に直接貢献できるだけでなく、中長期的な整備計画などまちの未来を創る仕事に携われます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「育成指導者」が、入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇 (3日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	357.91
人口	32,072
男	15,110
女	16,962
世帯数	16,223

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	374
一般行政	292
教育	54
消防	0
公営企業等	28
平均年齢	44.7

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	南九州市の農業は、農業産出額ベースで、鹿児島県内順位2位、全国順位12位となっています。なかでも知覧茶は、荒茶生産量が国内市町村のなかで1位、その品質も農林水産大臣賞や全国産地賞を受賞するなどトップクラスです。 観光では、平和を語り継ぐまちの原点となる知覧特攻平和会館に多くのひとが訪れるほか、伊能忠敬が天下の絶景と称賛した番所鼻、瀬平自然公園や知覧武家屋敷などの見どころのある景勝地がたくさんあります。	主なイベント (年間行事)	4月…新茶・大野岳マラソンinえい (緑広がる茶畑や素晴らしい景観を楽しみながら、大野岳の山頂までを往復するコースを走ります。) 8月…平和へのメッセージ from 知覧スピリット (「あしたのちがやけ」をテーマに世界の恒久平和を願い平和へのメッセージを発信しています。) 2月…川辺二日市・ちらんまち二日市 (歩行者天国となった商店街のメインストリートに露店が軒を連ね、多くの方が練り歩きます。川辺二日市は南薩摩に春を告げる風物詩で県内「三大市」のひとつです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」の実現に向けて、恵まれた自然環境の中で、地域資源を受け継ぎながら、新たな魅力を引き出し、伝統ある地場産業、貴重な歴史・文化遺産などを最大限に活かしたまちづくりを進めます。また、少子高齢化・人口減少が進行する中でも、「住みたい・住み続けたい」と思われるような、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが希望に満ちて、活気あふれる南九州市を目指します。	求める職員像	① 現場主義に徹し、市民の視点に立つ職員 ② 積極果敢に挑戦し、実行力を有する職員 ③ 経営感覚を持ち、広い視野から考える職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和5年度 / 一般事務	令和5年度 / 土木技師
志望した理由	前職では南九州市の方々と多く関わる機会があり、地域の方々の温かさに触れ、興味を持ちました。実際にイベントや行事に訪れてみると、風情ある街並みを活かした催しや、地域の伝統文化を大切に守り、次世代に受け継ぐための取り組みが行われていることを知り、感銘を受けました。この経験を通じて、南九州市の魅力を最大限に活かしたまちづくりに貢献したいという思いが強まり、市の職員として働くことを志望しました。	妻の地元が川辺で、南九州市と縁があり、自然豊かで歴史的にも有名な南九州市に惹かれ志望いたしました。また地元である鹿児島市の建設会社で培ってきた技術を、南九州市に貢献することができればと思い技術職を志望いたしました。
入ってみたいこんな職場	私は広報紙を作成する部署に配属されました。市のイベントや行事に従事し、広報記録用の写真を撮影したり、広報紙作成ソフトを使って見やすいレイアウトや配色を考えながら制作しています。毎月の発行で慌ただしい日もありますが、係の方々と協力しながら取り組んでいます。また、先輩方はとても話しやすく、お昼休みには趣味や最近の出来事について話すことが良いリフレッシュになっています。和やかな雰囲気職場だと感じています。	入庁して何も分からない状況で不安でしたが、メンター制度といったサポート体制も充実しており、新人に対する研修やフォローアップがとても手厚い職場だと感じました。また先輩方も大変優しく、毎日楽しく業務を行えています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	広報紙の特集を担当した際、多くの方からお話を伺う機会がありました。歴代の広報担当者のお話や、市民の読者の声を聞くことができ、とても参考になりました。また、自分でレイアウトを考えデザインを行ったため、事前に多くのことを学び、それが今でも役立っています。勉強の日々ですが、広報紙を見てくださった方や取材をさせていただいた方から、おたよりや感想をいただくと、とても嬉しく思います。さらに、取材を通じて知り合いが増え、声をかけてもらえる機会が増えたことも嬉しく思います。	住民の方々からの要望に応えた後に、お電話での感謝の言葉や、窓口にて直接お礼を頂くことがあります。自分の仕事や誰かの役に立っていることを実感でき、それが日々のモチベーションにつながりとてもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所での仕事は、地域社会に直接貢献できるやりがいのある業務だと感じています。私も2年目の市役所職員として、日々さまざまな業務に取り組んでいますが、その中で成長し学ぶことがたくさんあります。新たな環境に挑戦することは不安や大変なことも多いと思いますが、自分の夢や目標に向かって頑張ってください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！	南九州市に住んでまだ1年半ほどですが、とても充実した日々を過ごしています。職場環境も大変良く、自然も豊かで生活していくにもとても良い環境だと思います。南九州市では是非お待ちしております。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート「メンター制度」 同じ部署に所属する年齢の近い職員「メンター」が、業務や公私に渡り入庁1年目の新規採用職員のサポートをします。 ○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワーク (職員が居住している住宅で勤務) が可能です。 ○育成型人事評価の実施 上期と下期で2回の評価期間があり、評価期間の開始に目標を設定します。上司は日常のマネジメントや進捗管理を行い、期末に面談を実施、実績等を振り返り、次期に向けた目標設定を話し合います。賞与等への処遇反映のほか、職員の育成に重点を置いた人事評価に取り組んでいます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、職員表彰休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	392.56
人口	23,345
男	10,907
女	12,438
世帯数	12,636

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	269
一般行政	200
教育	35
消防	0
公営企業等	34
平均年齢	42.2

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	伊佐市は鹿児島県本土の最北端に位置し、熊本県水俣市、人吉市、宮崎県えびの市に接する県境のまちです。冬は氷点下になることもあり「鹿児島の北海道」とも言われます。 滝幅日本で東洋のナイアガラともいわれている「曾木の滝」や、明治期に建てられたレンガ造りの水力発電所跡「曾木発電所遺構」などが有名です。 また、「焼酎のふるさと」とも呼ばれ、伊佐の焼酎は全国的にも人気です。ほかに黒豚や、食味コンクール日本一になった伊佐米など美味しい魅力がいっぱいです。日本の金産出量の大半を占める「菱刈鉱山」があることでも知られています。	主なイベント (年間行事)	3月～4月…忠元公園桜まつりウィーク (毎年開花の時期に開催され、特産品販売やフリーマーケットなど、多くの露店が並び、訪れるおよそ1万人の花見客で賑わいます。) 4月…いさドラゴンカップ (市内外から約70チームが参加し、10人1組でドラゴンボートのタイムを競います。) 11月～翌1月…曾木の滝公園紅葉ライトアップ・イルミネーション (滝付近の紅葉をメインにライトアップ。12月からは九州最大級のイルミネーションを楽しめます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「笑顔あふれ 一人ひとりが 幸せ感じるまち」 一人ひとりがお互いに尊重し合い、支え合い、いつまでも元気でいきいきと過ごすことができる伊佐、そのようなまちに暮らす人々は、明日への不安がなく、心穏やかに一日一日を生きることができ、自然と穏やかな笑顔になっていることが思い描かれます。	求める職員像	1 「仕事開拓型」の人 2 「協働」できる人 3 「行政のプロフェッショナル」としての人 4 「人間性」に富んだ人 5 「チャレンジャー」であり続ける人

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和6年度/一般事務	令和5年度/土木
志望した理由	私が伊佐市役所を志望した理由は、今まで住んでいた地元を離れ新しい環境で生活したことで、伊佐の魅力を再認識することができたからです。また、行政の仕事に携わりたい、生まれ育った伊佐市で役に立つ仕事がしたいと思い、志望しました。私自身、人とコミュニケーションをとることが好きなので、特に観光に関する部署を第一希望として、若い世代に向けたSNS等での観光地の魅力発信、PR活動を通して多くの方と触れ合いたいと思っていました。幅広い世代とコミュニケーションをとり、よりよい伊佐市にしたいと思い志望しました。	学生時代は伊佐市で過ごし、県外の建設業の会社で働いていました。そこで得た知識を生かし、地元である伊佐市に貢献したいという思いがあり志望しました。
入って見たらこんな職場	市役所と聞くことが多くありますが、実際の職場は和気あいあいと明るく元気の職場です。自分の意見もしっかり発言でき、疑問に思ったことは質問しやすい環境です。また、市役所はこんな仕事もしているんだと仕事の多様さに驚きました。県内外に行くと特産品をPRしたり、SNSで魅力を発信するだけでなく、毎年9月に開催される東京ゲームショウに出展の仕事を受けたときには驚きました。市役所は色々な分野の仕事が経験でき、市民の方とよりよい関係を育める職場だと思いました。	先輩方は丁寧で優しく頼りになり業務で疑問に思うことやわからないことを質問しやすい環境です。仕事は真面目にしながらも、明るく楽しい職場です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	私の強みであるコミュニケーション能力を生かせるPR活動でやりがいを感じることができたり、PR活動の様子をニュースに取り上げてもらい、多くの人に伊佐を知ってもらうことができたときに達成感を感じます。また、ふるさと会などに参加すると色々な年齢層の方と関わる機会があるのですが、懐かしいふるさとの思い出であったり、今の現状であったりをお話しているときに、伊佐市は色々な方たちから支えられているんだと感じ、同時にその期待に応えないといけないと思うことができます。	伊佐市の道路工事の発注・管理を行っています。自分が計画・発注した工事が図面から形になったとき、得られる感動は大きなものがあります。また、完成した工事に関して近隣住民の方から感謝の声を頂くこともあり、やりがいのある仕事です。
先輩職員からメッセージ	伊佐市役所には優しく温かくご指導して下さる先輩職員の皆さんがたくさんいます。また、市民の方や事業者さんなど幅広い年齢層や職業の方と関わり、色々な経験をできるのが市役所職員の良いところだと思います。採用試験対策で大変な時期だとは思いますが、よりよい伊佐市にするために伊佐市のために働きたい、役に立ちたいという熱い思いのある方は、ぜひ伊佐市職員を目指してください。	専門的な知識を求められることはありますが、日々の業務の中で達成感や感動をえられ、自分のスキルアップもできる職場です。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで ○休日 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始 (12月29日から翌年の1月3日まで) ○休暇・休業 年次有給休暇は年間20日 (4月に新規採用時の採用年は15日) で、未使用日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます。このほか、産前産後休暇、育児休業、介護休暇、療養休暇、特別休暇 (結婚、忌引、夏季休暇等) の制度があります。 ○各種手当 期末手当や勤続手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○研修制度 階層別研修 (新規採用職員、一般職員、役付職員等) や専門的知識技能研修などの職員研修を実施しています。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	231.25
人口	78,218
男	36,810
女	41,408
世帯数	38,317

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	568
一般行政	364
教育	68
消防	99
公営企業等	37
平均年齢	40.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力 始良市は、鹿児島県のほぼ中央に位置し、薩摩・大隅両半島の分岐点にあたります。 鹿児島市・霧島市・薩摩川内市と接しており、鹿児島空港や鹿児島港へも近く、交通アクセスに恵まれているため、これからも大きく発展することが期待されています。 また、始良市は、国の民族文化財に指定されている「加治木町くも合戦」をはじめ、各地域に多くの伝統行事が受け継がれており、古い歴史と文化に育まれているまちです。 ちなみに、民間企業の調査において、県内住みこちランキング5年連続一位となっています。	主なイベント (年間行事) 6月…加治木町くも合戦大会 8月…始良市花火大会、加治木・蒲生太鼓踊り 11月…日本一大桶どんと秋まつり 2月…薩摩おどんカップ 3月…あいら春まつり
目指すまちの姿 (ビジョン) 可能性全開！夢と希望をはぐくむまちづくり ～ひとりひとりが主役 住みよい県央都市 あいら～ 本市は、自然災害から市民を守り、県内に位置する利便性や、自然の恵み、豊富な人材による知徳を活かしながら、都市的な機能の田園が融合したまちとして、持続的に発展させるために、本市の持つ潜在的な可能性を活かし、市民と一体となった、多様性豊かな魅力あるまちづくりを進めます。	求める職員像 1 地域社会への貢献意欲と使命感のある職員 2 政策形成能力を持つ職員 3 コミュニケーション能力を持つ職員 4 人間性豊かで、協調性とバランス感覚のある職員 5 時代の変化に対応できる創造性豊かな職員 6 幅広い視野と柔軟な発想を持ち、行動力・実行力のある職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	R6年度採用／一般事務	R6年度採用／土木技師
志望した理由	自分が実際にこの街に住みたいと思ったのがきっかけです。住みやすいまちNo.1の始良市の職員として、誰かのために働きたいと考えました。	始良市は現在、鹿児島県内で唯一人口が増えている市です。発展し続けているこのまちでしか経験できない仕事があると思い、志望しました。
入ってみたらこんな職場	職場の方以外の外郭団体との関りが多くあり、多くの人との出会いがあります。 職場は、張り詰めたような雰囲気はなく、寛大な方ばかりなので居心地が良いです。上司や同僚と他愛もない話をしたり、冗談を言い合うのが楽しいです！	日々忙しい中でも、上司や同僚に分らないことを質問すれば、それ以上のことも含め、詳しく教えてください。職場の雰囲気も穏やかで、居心地よい職場だと感じています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	市のスポーツイベントや大会などの企画、運営、補助を担当していますが、子供から高齢の方まで、幅広い年代の方々がスポーツやイベントを楽しんでいる様子を間近で感じられることがやりがいです。参加者に楽しんでもらうことを第一に考えています。	この職業に就いてみて、工事完了時に市民の方から「ありがとう」「助かった」と感謝の言葉をいただけることが魅力だと感じています。
先輩職員からメッセージ	勉強、勉強…となると心が疲れてしまうので、やるときはやる、くらのスタンスが良いと思います。息抜きもしっかりしてくださいね。応援しています！	試験勉強など、大変なことも多いと思いますが頑張ってください。

IV 職場の環境等

主な制度・取組 ○研修制度…新規採用職員を対象とした各種研修、人権啓発研修や人事評価研修などの独自研修、職員のスキルアップのための市外・県外研修等をおこなっています。 ○休暇制度…年次有給休暇 (20日)、健康増進休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当…期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○部活動…野球部、バレーボール、サッカー、ソフトボールなどオフィシャルな部活動が12団体あり、職員間で特技を活かしたワークライフバランスの維持が行われています。そのほかオフィシャルではないですが、釣りや育児、カメラ、歴史など趣味の範囲で独自に活動している職員もいます。
--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	31.39
人口	364
男	188
女	176
世帯数	204

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	52
一般行政	30
教育	3
消防	0
公営企業等	19
平均年齢	44

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島市から南西へ100~150キロメートルの洋上にあり、東西に点在する「竹島」「硫黄島」「黒島」の三つの島から成り、錦江湾を出て、県本土に最も近い外海小規模離島の村であります。無垢の自然と貴重な伝統文化、歴史を有することから「日本ジオパーク」「県立自然公園」「国の天然記念物指定」「ユネスコ無形文化遺産登録」等、国内外から高い評価をいただいています。 役場本庁舎は鹿児島市にあり、行政区域外に役場を置く自治体としては3団体しかない特異な村役場です。	主なイベント (年間行事)	・MISHIMA CUPヨットレース (7月) H2に海を生かしたイベントとして開始し、県内最大のヨットレース。県内外から約40艇が参加 ・アフリカ音楽との交流 世界的ジャンベ奏者「ママディ・ケイタ」氏との出会いによりジャンベ (アフリカのパーカッション) を介した交流がスタート。 ・俊寛伝説を活かした歌舞伎・新能・俊寛祭り H8中村勘九郎一門 (故勘三郎)、H23中村勘三郎丈一門による三島村歌舞伎が上演。 ・特攻平和祈年祭 (5月) 元特攻兵の方が、世界平和と南の海に消えていった仲間の鎮魂の為に観音像を建立し、本村黒島に特攻機が不時着した5月に実施。
目指すまちの姿 (ビジョン)	きらりと光るアイランドみしま 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする 2 地方とのつながりを築き、新たなひとの流れをつくる 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地	求める職員像	①豊かな人間性、柔軟な創造力、積極性等を兼ね備えた意欲に満ちた人 ②困難な仕事にも粘り強く取り組めるとともに、前例のないことにも積極的にチャレンジできる人

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度/一般事務	令和6年度/土木技師
志望した理由	大学卒業後、数年間海外でグラフィックデザイナーをしていたのですが、コロナの影響もあり地元鹿児島へ帰ってくることに。県内の企業でデザインやマーケティングなどの業務をしていたところ、三島村役場の求人を見つけました。私の祖父母は硫黄島の出身で、先祖代々硫黄島で神主をしていたこともあり、私も我が家の次期当主として硫黄島のために何か力になれることがあればと三島村役場の求人に応募しました。	私は地図に残るモノを作る仕事をしたいと考えていました。ダムやトンネルなど誰もが人生において気付いていないだけで、必要不可欠なものを作る土木にとっても興味を持っていたので、求職者支援訓練で勉強しました。また、地元である鹿児島でずっと働きたいと考えるようになり、安定性の面から公務員で働くことに魅力を感じ志望しました。
入ってみたらこんな職場	大学時代に美術館などのキュレーションを専攻しており、学芸員の国家資格を持っていることや、デザインやマーケティングやブランディングなどの業務をしていたことから、何かこれまでの経験が生かせる部署に配属になればと思っていました。しかし全く分野の違う部署に配属になり、慣れない業務に不安でいっぱいでしたが、未経験でも先輩職員が親切丁寧に指導してくれました。やる気と気合があれば大丈夫なアットホームな職場です。	公務員ということもあり、固い職場の雰囲気想像していましたがそのようなことはありませんでした。出張は課によってだとは思いますが、私が思っていたより多くて驚きました。また、人口300人ほどの小さな村役場なので、住民の方たちとの距離感が近く、意見交換がしやすいので、些細な事でも相談し合えることが良いと思いました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	入庁から一年と少しで村税という大役を任せてもらえたことです。年度の途中に前任者が退職し、ようやく行政の仕組みについて理解してきたタイミングで、とても重要な仕事を任せてもらえたことは非常に嬉しかったです。また、その他にも選挙管理委員会事務局や庁舎管理、DX推進など様々な業務を担当させていただき、様々な経験を積むことができ非常にやりがいを感じています。	採用されてから、自分が担当した仕事はまだ完成に至っていませんが、採用された4月から進めている、橋梁補修の完成が楽しみです。少しの積算の違いが大きな金額の変化になってしまうので、計算が苦手な私には大変です。この大変な作業が、これから島にずっと残り続ける橋になると考えるとやりがいになります。
先輩職員からメッセージ	「お役所仕事は退屈そう」というイメージは180度変わります。職員の数も少ないため、様々な業務を担当でき、沢山の経験ができます。出張で島に行くことも沢山あり、時には漁船やヘリに乗り島に駆けつけるといった普段できないような経験もできるとてもやりがいのある素敵な仕事です。皆さんもぜひ三島村役場で三島村のために一緒に働きましょう！	上司の方がとても優しく島の方々もアットホームな、働きやすい職場だと思います。市内に本庁があるので、通勤も楽だと思います。公務員ならではの、面倒だと思う作業規程などもあります。少しずつ覚えていけたら良いと思います。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、特別休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	303.9
人口	19,157
男	8,975
女	10,182
世帯数	9,991

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	307
一般行政	179
教育	41
消防	50
公営企業等	37
平均年齢	42.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	さつま町は鹿児島県北西部に位置し、標高1,067mの紫尾山や町を貫流する南九州一の大河である川内川、田園や竹林、ホテルや温泉など、多くの自然に恵まれた風光明媚な町です。また、主要都市に通じる国道3路線が町の中心部で交差し、鹿児島市まで約70分、鹿児島空港まで約40分と交通アクセスも比較的良好です。	主なイベント (年間行事)	5月…奥薩摩のホテル舟運行 (自然豊かな川内川流域に生息する無数のホテル。棹差し舟で川下りを楽しみながら乱舞するホテルを鑑賞できるイベントです。) 8月…さつま町夏まつり (五ツ太鼓がにぎやかな音を轟かせ、神輿や手踊り連、ねふたなどが練り歩く。花火やステージイベントも開催されます。) 11月…さつま町産業祭 & J A 農業祭 (地元をはじめ、友好交流都市である中種子町、青森県鶴田町の特産品の販売やステージイベント、抽選会など目白押しイベントです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町」 まちづくりは「ひと」が主役です。 「ひと」が主役の町を創造するために、地域の様々な課題について、町民、地域、各種団体、事業者、行政など多様な主体が共に連携し、語らい、『自助』・『共助』・『公助』の役割を自覚しながら、『ひと』のふれあいと『まち』のにぎわい、『自然』のうらおいを掛け合わせ、オールさつまの魅力とパワーを結集して、「みんなで紡ぐ さつま町」を目指します。	求める職員像	①町民感覚を有する職員 ②チャレンジ精神を有する職員 ③経営感覚を有する職員 ④豊かな人間性を有する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成30年度/一般事務職	平成31年度/土木技師
志望した理由	大学進学で県外に出たことが大きなきっかけだと思います。気候の異なる土地で生活したことで、五感で触れる季節の感覚がさつま町に育まれたものなんだと感じることが多くなりました。育ててもらった町を守っていききたい、何かできないかなと思ったことがきっかけの一つです。	在学中に専攻していた土木分野の仕事を探していたところ、さつま町役場が土木技師を募集していることを知りました。生まれ育った地域に恩返しできればという思いと、前職で工事の施工管理をしていた経験が活かせるのではないかなと思ったことが公務員を選んだきっかけです。
入ってみたらこんな職場	業務内容が多様多様!「役所」と聞いてイメージする各種申請窓口の仕事だけでなく、企画、広報、町道や水道の管理等、異動すると転職かな?と思うぐらいです。子どもの頃に参加していたイベントも社会教育課で企画していたものだったのかと知りました。異動のたびに学び直しが必要ですが、働きながら新しい自分に出会えます!	民間での仕事内容に比べて、行政は土木技師であっても道路、農地、水道など幅広く業務を行う必要があります。民間とは違う仕事内容に不安もありましたが、同じ土木技師の先輩方にフォローしていただきながら楽しく仕事ができています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	地域の方や子どもたちと触れ合う機会の多い仕事です。イベントを運営していると、参加者の反応をダイレクトに感じることができず。参加者が楽しそうに活動していたり、何か新しい発見に出会ったりという場面に立ち会えるのはとてもうれしいと感じます。	(現在の配属は水道課) 蛇口を捻れば水が出る。生活の中で当たり前なことだと思います。この当たり前を供給し続けることが水道課の仕事であり、生活の一部を陰ながら支えられる仕事にやりがいを感じています。 建設関係は完成したものが形として残るので、それらも達成感が得られる一因となっています。
先輩職員からメッセージ	一緒にお仕事できる日を楽しみにしています!	在学中もしくは働きながら、就職活動や試験勉強をするのは大変だと思います。その中でも「なぜ、さつま町で働きたいのか。」ということを考える時間をしっかり作ることをおすすめします。 試験の志望動機のためだけでなく、採用後の働くモチベーション、多忙な時期や辛い時を乗り越える原動力に繋がると 생각합니다。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 入庁後、庁内での新規採用職員研修や、研修機関での階層別研修などの充実した研修プログラムで新規採用職員の育成をサポートします。 ○福利厚生 定期健康診断、人間ドック助成制度、メンタルヘルス対策、公務災害補償、鹿児島県市町村共済組合の福利厚生制度 (関連宿泊施設利用助成制度等)、職員互助会主催の職員交流事業 など ○資格取得支援制度 業務に必要とされる各種資格取得に要する経費を助成します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇などの取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当などを支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	100.64
人口	12,142
男	5,820
女	6,322
世帯数	6,597

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	140
一般行政	105
教育	21
消防	0
公営企業等	14
平均年齢	41.9

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	本町の基幹産業は農業で、温暖多照に恵まれた気候と広大な農用地を背景に、米、果樹、園芸、茶、畜産等、多様な農産物や加工品が生産されています。中でも「うなぎ」や「プロイラー」は生産量日本一の産地として確立し、また、かごしまブランドに認証された大崎産マンゴーも県内一の産地として知られています。	主なイベント (年間行事)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいフェスタinおおさき くのにの松原ビーチフェスタ カフト虫相撲大会 JAPAN Athlete Games in Osaki
目指すまちの姿 (ビジョン)	「まち・ひと・しごと 世界の未来をつくる 循環のまち」 「美しいふるさと大崎町を持続可能なまちとして、次の世代に引き継ぐ」ことを目的として、劇的に社会全体が変化の中で「美しいふるさと大崎町」を次の世代に引き継ぐために「世代をこえた循環」、「資源の循環」、「経済の循環」を踏まえ、明瞭な将来像を描き、その実現に向けて取り組み、SDGs 未来都市の趣旨を踏まえ、SDGs 達成に積極的に取り組むとともに、他地域への普及展開を進めていきます。	求める職員像	町民満足度の視点を立ち、町民がどのように考え、何を望んでいるのかを知るために、町民との協働の手法などを行政運営の中に取り入れることができ、町民とともに町民の立場で考えられる職員 大崎町の限りある財源や人的資源の中で、効率的で効果的な行政経営を行うために、社会の動向を見極め、総合的、長期的な視点から、明日の大崎を描くことができる職員 仕事を通して自己実現や自己成長を目指し、主体性を持って積極的に仕事に取り組む、チャレンジ精神のある職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成29年度 / 一般事務職	平成27年度 / 建築技術職
志望した理由	大崎町を志望した理由は「地元の大崎町を多くの方に知ってもらいたい」というのが一番の理由です。ごみリサイクル率全国1位や陸上の聖地実現プロジェクトなど日本だけでなく世界にもPRできる地元大崎町を沢山の方に知ってもらおうことで、そんな町に住んでみたいと思う方が増え町が発展していくことに少しでも貢献できたらと思い志望しました。	これまで培ってきた建築の知識を活かし、地元の大崎町へ貢献できる仕事をしたいという思いからこの仕事を選びました。
入ってみたい こんな職場	大崎町は、人材を大切にしている職場です。周りの上司や先輩などが積極的に後輩や新人職員とコミュニケーションを図り、仕事や他のことでも気軽に相談できる職場です。 また、研修等への参加も意欲的で人材育成にも力を入れています。	建設課は技術職の職員が数多く在籍し、とても賑やかで明るい雰囲気の良い職場です。相談等も気軽にでき時には係を超えてアドバイスをいただくこともありとても働きやすい環境です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	入庁8年目で3箇所の異動を経験していますが、農政部門・保健福祉部門と住民の方と接する機会が多く、困っていることや役場へ要望したいことなどの意見を聞き、解決出来た時に感謝された時に町やそこに住んでいる方へ貢献できたことと実感することがありました。 また、人事部門では役場で働く職員のために出来ることはないかと模索し、職員が元気で活発に職務に取り組めることで住民サービスの向上に繋がったと思うことがありました。	建築係では主に町が所有する公共施設の新築や改修工事に関する業務を担当しており、工事に必要な図面の作成や工事費の積算、工事の安全や品質、工程の監理等を設計事務所の協力のもと行っています。 構想から完成まで解決すべき課題は多いですが自分の仕事の成果が目に見えるかたちで残るため完成後の達成感は大きくとてもやりがいに感じます。
先輩職員から メッセージ	地域に貢献できることは自治体職員でなくても出来ることはあります。しかし、自治体職員であるからこそ出来ることもあると思いますので町を活性化させたいと思う方はぜひ大崎町へ来てみませんか。 現在の職員と共に色々な取り組みにチャレンジしましょう。	公共施設は様々な種類があり小さな町だからこそ幅広い分野を担当することができ、日々新しい知識を深められます。 設計から発注、監督まで携わった工事が完成した時にはやりがいを感じ、自分の仕事で町民の方々の生活に直結しているものと実感することができます。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村アカデミー等への研修実施 法制執務研修の実施 メンタルヘルスケアのためのストレスチェック実施
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	308.1
人口	13,944
男	6,866
女	7,078
世帯数	7,535

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	202
一般行政	140
教育	19
消防	0
公営企業等	43
平均年齢	42.4

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	<p>肝付町は、本土最南端の半島である鹿児島県大隅半島の南東部に位置し、JAXA内の浦宇宙空間観測所があるロケットの町として全国に知られています。</p> <p>中央部には900m級の山々が連なる国見山系、北部には高隈山系や国見山系を源に発する肝属川の恵みを受けた肝属平野、南東部には急峻な山脈がそのまま太平洋に落ち込み50kmも美しい海岸線が広がり、山と海の豊かな自然に包まれた地域です。</p> <p>平成17年、平成の大合併により高山町と内之浦町の2町が合併して「肝付町」となっています。</p>	主なイベント (年間行事) <p>10月…高山やぶさめ祭 (四十九所神社に奉納される流鏝馬に合わせて開催される町最大のイベントです。歩行者天国には露店が並びお祭りムード一色となります。)</p> <p>不定期…ロケット打上げ (JAXA内の浦宇宙空間観測所からは、人工衛星打ち上げ用固体燃料ロケット「イプシロン」や「観測ロケット」の打上げがあります。)</p>
目指すまちの姿 (ビジョン)	<p>「自然資源」、「歴史遺産」、「宇宙」というテーマを核として、地域資源を最大限に活用し、またブラッシュアップを行いながら、時代のニーズに合った持続可能で魅力あるまちづくりを推進しています。同時に、町内外から新しい視点を取り入れ、まちの魅力をさらに発掘することで、住民に還元できるシステムづくりを目指します。</p>	求める職員像 <p>①挑戦する職員 意欲的に業務や自己啓発に取り組み、問題意識や改善意識を持って、失敗を恐れず挑戦できる職員。</p> <p>②住民目線で考える職員 常に公平・中立の立場で、住民目線でのサービス向上や真摯な行動ができる職員。</p>

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	一般事務	技士
志望した理由	生まれ育った地域を、将来にわたって存続できるための取り組みの一端を担う仕事に関わりたくと考えて志望しました。	県外に出て学んだ知識を地元への貢献に活かしたいと考えて志望しました。
入って見たらこんな職場	専門的知識や経験のない分野の業務従事に、大きな不安を感じましたが、先輩や事業者まで温かく指導をいただけるのでスムーズに取り組むことが出来ました。	業務に関しては、先輩方から優しく指導いただけるので問題ありませんでした。イベントに対する職員の取り組みや一体感に驚きました。町に対する思いの現れだと考えます。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	イベントや補助事業などが終了したときの達成感は格別です。住民や事業者からの感謝の言葉は、次への活力や、やりがいに直結します。	事業が完成した時に、地元住民から感謝の言葉を頂くことが多くやりがいや、次への活力に繋がります。
先輩職員からメッセージ	町の職員は、地方自治・行政現場の最前線業務を担っています。直接住民と接する業務が多く、多岐にわたる業務内容や要望事項等への対応は、大変なこともありますが大きなやりがいがある仕事です。	住民と接する業務が多く、大変なこともありますが、感謝の言葉をもらう機会多くやりがいを感じます。自身の経験や能力向上に繋がる仕事も多く、ステップアップを図れる職場です。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<p>○職員のサポート 新規採用時や1年経過時等の節目や希望に応じて、産業カウンセラーによる相談対応やアドバイス等のサポートを受けることができます。</p> <p>また、各種のトラブル対応や法律相談を始め、カスタマーハラスメント対応等については、顧問弁護士によるサポートを受けることができます。</p> <p>○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得により、仕事とプライベートの両方を充実させることができます。</p> <p>○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。</p>
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	136.94
人口	7,301
男	3,509
女	3,792
世帯数	4,102

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	147
一般行政	116
教育	17
消防	0
公営企業等	14
平均年齢	40.5

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	昔から種子島には多くの伝統的な唄や踊りがあり、民謡の宝庫いわれてきました。もちろん中種子町でも各集落の保存会や有志によって郷土芸能が受け継がれています。郷土芸能の保存会などを中心に文化祭や農林漁業祭など町のイベントでも披露され、郷土芸能の保存や伝承のため積極的に活動しています。 また、太平洋と東シナ海の間には浮かぶ自然豊かな種子島は山の幸、海の幸が豊富。中種子町の家庭や宴会では、四季折々の天然極上の食材に溢れる島の恵みを家族や仲間と語りながら味わいます	主なイベント (年間行事)	よいら〜いき祭り (夏祭り) 町民文化祭 町民体育祭 農林漁業祭 種子島相撲大会
目指すまちの姿 (ビジョン)	美しいふるさとの自然をと、誇り高い伝統を愛し、みんなの力を合わせ限らない郷土の発展 将来像：「よいら〜いき」でつなぐ人の和と豊かな自然が織りなす”躍動なかなね”」	求める職員像	全体の奉仕者として自らが社会の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるように、政策形成能力や創造的能力等の研さんをを行い、時代に即応できる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	2011年度 / 一般事務	平成24年度 / 土木技術職
志望した理由	地域貢献や他者貢献をすることが私の人生の中では重要です。種子島にも様々な職はありますが、役場といえば、異動で畑違いのところに行くのは当たり前。様々な人々と関わり合うことのできることで自分が魅力的でした。 島 (田舎) は、地域との関わり合いが多く、地元を支える人間 (裏方) となり、島民の笑顔が増えていくことが、自分にとってうれしいです。	地元で働きたい思いが強く、また安定した長期的に働ける環境に魅力を感じた。高校では土木工学を勉強していたため、地元のインフラ整備や、維持管理など、地域社会への貢献ができること、物作りが好きなことから、土木技術職を志望した。
入って見たら こんな職場	1年目はとにかく指示に従って動き、受け身で仕事をしていました。2年目から上司が替わると、根拠や行っている仕事の意味を根拠強く教えてくださった先輩がいました。 3か所目の異動先では、当時の上司 (指導主事の教頭先生) に「条例を熟知して、仕事の見直しをしないよ」と、真正面から指導を受けたことで、自ら考え仕事をしていくことの気づきを得ました。この日から前例踏襲を毛嫌いしています。「前もこうだった」と言うのは何も考えていない人がいう言葉ですね。	職員同士のつながりが強く、同じ課、係の職員だけでなく、他部署との連携が大切だと思った。その結果、いろいろな職員と交流し、仲が良くなるため、職場の環境が良い。また、私の部署は、災害対応をしている部署なので、年度によって業務量が大きく変わり、その都度柔軟な対応が必要になるため、そこは大変なところである。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	当たり前に行っていた業務のルーティーンを、面倒な工程もありませんながら、そういうものだと思って続けていました。3か所目の異動先では、職務の責任と裁量が増え、このとき初めて”仕事のやり方を変える”ことをしました。そこからは、面倒な工程をシンプルにする業務改善に興味を持ちはじめ、楽しくなっています。時間を短縮して、考える時間を作り、また提案しての繰り返し。まだまだやることはいっぱいあり、現状を打破していく、自己実現感で全ての仕事にやりがいを感じています。	自分の仕事が地域の発展や生活環境の向上に直結していることを実感できる。たとえば、農道の整備を行うことで、作業効率の向上、生産性の向上が期待できたり、災害復旧事業では、被災した農地や道路の復旧をすみやかに行うことで、災害発生後の影響を少なくすることができる。このような直接的な関わりができることが、仕事のやりがいとなっている。
先輩職員から メッセージ	島の中には、地域をもっと良くしたいと志をもっている方は確実にいます。そういった方の手を引っ張れば、地域と行政の二人三脚で、好循環を創っていき感じています。 中種子町の置かれている立場や課題も多々あります。一緒に地域課題をクリアして地域貢献しましょう！	自分の技術力を、地域のために活用できる、やりがいのある職場だと思ふ。地域住民からの期待は大きく、時にはプレッシャーに感じるときもあるかもしれないが、それも含めて、やりがいと感じてほしい。職員全員が成長し、地域の発展につながるよう、共に頑張りましょう。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	
---------	--



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	109.94
人口	5,288
男	2,651
女	2,637
世帯数	2,888

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	106
一般行政	80
教育	11
消防	0
公営企業等	15
平均年齢	42.7

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	南種子町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、起伏の多い丘陵地帯で中央は海拔200m、中央から西部にかけては、最も年代の古い古代第三紀層で河川が多く、流域の沖積層には水田が広がっています。天文12年(1543)、ポルトガル人が乗った明国船が種子島最南端の前之浜に漂着し、鉄砲伝来の地として歴史的な由来を持つ。現在は、日本の科学技術の粋を集めた種子島宇宙センターがあることで、歴史と未来が共存する町です。 超早場米「コシヒカリ」の出荷や全国区ブランドの「安納いも」など、その温暖な気候と恵まれた農地を活かした農業が、この町の基幹産業です。また、その他に、西日本屈指のサーフスポットとしても知られ、「秒速5センチメートル」など、アニメや漫画の舞台となったことで、「聖地巡礼」としても注目される島です。	主なイベント (年間行事)	3月…種子島ロケットコンテスト大会 8月…南種子町ロケット祭 11月…南種子町ふるさと祭
目指すまちの姿 (ビジョン)	本町は、豊かな自然環境に加え、種子島宇宙センターや鉄砲伝来の地、そして、国指定文財である広田遺跡など、多様な地域資源を有しています。これまでの歴史の中で形成されてきた、特化した本町の地域資源は今後も、その価値を継承し、有効活用しながら進化させていくことが重要です。本町の「第六次長期振興計画」で設定されている将来像「みんなであつこう 夢・希望・感動あふれるまち みなみたね」を実現するため、本町の目指すべき姿として、①地域資源を生かしながら、将来を担う新たな産業の創出によるまちづくり ②南種子と関わり、繋がることでひとの循環が生まれるまちづくり ③南種子を愛し、新たなチャレンジをするまちづくり ④持続可能な社会を目指すまちづくりの4項目を設定し、目指すべき姿を実現します。	求める職員像	①豊かな人間性、柔軟な創造力、積極性等を兼ね備えた意欲に満ちた人 ②困難な仕事にも粘り強く取り組めるとともに、前例のないことにも積極的にチャレンジできる人

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	2012年度 (平成24年度) / 一般事務	平成14年度 / 埋蔵文化財専門職員
志望した理由	南種子町出身で、大学生になって初めて島外にでました。異なる環境で生活するうちに、地元であたたかな人間性や風土、文化など、地元で過ごす中では全く気付かなかった魅力に気づきました。また、「種子島」の知名度の低さにも驚き、この素晴らしい島、町をもっと知ってもらいたいという思いと私をあたたかく育ててくれた地元で少しでも貢献したいという思いから、ちょうど募集が出ていた南種子町役場の採用試験に応募しました。	大学で考古学を学び、専門知識を活かした職業につきたいと考えていた。また、埋蔵文化財はその地域の豊かな歴史・文化を象徴する文化遺産であり、文化財を守り伝えるとともに、遺跡を活用した地域おこしに貢献したいと考えていたため。
入ってみたい こんな職場	役所と言えば、やはり堅苦しい印象があるかと思いますが、職員数が少ないため、同僚はもちろん上司とも自然と距離が近くなり、和気あいあいとし、良いコミュニケーションを取りながら仕事に取り組むことができます。また、それは対住民も同じで、常にコミュニケーションを取りながら、皆で地域課題解決に取り組んでいくアットホームな職場です。また、日本唯一の大型ロケット発射場があることから、ロケット打上をいつでも見ることができる環境はもちろんですが、離島の田舎でありながら、ロケット等を通して、地元以外の方と出会うことができます。	JAXA種子島宇宙センターがある町であり、歴史と未来をつないで、町おこしをしようという前向きな職場であり、自由な発想で、地域を元気にしていこうという雰囲気にも満ちた職場である。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	毎年私たちの町では「ロケット祭り」という名前の夏祭りを開催しており、約5,300人程の町でありながら、祭り当日は全国から1万人を超える来場者があります。その祭りの運営を担った際には、企画段階から地元の関係者と一緒になって話し合い、様々な準備を行い、当日は、役場職員及び関係者の総力を挙げて祭りの成功に向けて取り組みます。その過程は、不安と非常にプレッシャーのかかる日々でしたが、来場された方が笑顔で祭りを楽しむ姿や声を見聞きしたり、無事故もなく祭りが終了したことで安堵や達成感、やりがいを感じました。	南種子町には、豊かな文化遺産が多数残されており、それらの文化財を国指定・県指定とし、史跡公園・史跡博物館等に整備をする仕事はとてもやりがいがあった。具体的には、20年間で2件の国史跡、1件の国重文、1件の国重要無形民俗文化財、1件の国選択文化財などに指定することができた。また、重要な遺跡の発掘調査を多数手がけ、遺跡の学術的な価値を報告書にまとめることができた。
先輩職員から メッセージ	役場職員という職業は、華やかさのある職業ではないかもしれませんが、しかし、小さなことから大きなことまで、町そして、その町に住む方々の生活を支える重要な役割を果たしています。その中で自分自身の存在価値を見つけ、一歩一歩、成長していくことができます。私たち職員、そして住民と町を楽しく盛り上げていきたいと思います。	南種子町は、広田遺跡ミュージアムなどの拠点的な博物館施設があり、町立埋蔵文化財センターが設置されるなど、文化財保護体制が充実した働き甲斐のある職場である。ぜひ、一緒に夢を追いかけましょう。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等にしっかり結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇(5日)等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	540.44
人口	11,591
男	5,705
女	5,886
世帯数	6,478

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	188
一般行政	131
教育	22
消防	0
公営企業等	35
平均年齢	40.9

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	<p>当町は、県本土最南端の佐多岬から南西方向約60kmに位置する人口約1.1万人、面積約540平方キロメートルの屋久島と口永良部島からなる豊かな自然に囲まれたまちです。</p> <p>屋久島は、平成5年にユネスコによって日本で初めて世界自然遺産に登録され、平成17年にはラムサール条約、平成28年には屋久島・口永良部島ユネスコエコパークとして登録されている日本で唯一のユネスコ3冠の島です。</p> <p>南の島ですが、山頂では北海道並みの気候となり、屋久島だけで日本列島すべての自然を網羅することができるなど、世界中の人から一度は訪れたいといわれる場所です。</p>	主なイベント (年間行事)	<p>2月…サイクリング屋久島 (エコな乗り物“自転車”に乗って、屋久島の大自然を体験してもらうイベントです。)</p> <p>4月…ふるさと産業まつり (屋久島の農林水産業の振興を図ることを目的にしたもので、姉妹盟約都市の特産品等も出品されるイベントです。)</p> <p>8月…屋久島ご神山まつり (山岳信仰を踏まえた伝統・文化の継承を目的とした夏祭りです。)</p> <p>11月…屋久島夢まつり (屋久島の人人々、子どもたちの夢や願いを込めて、1万4千の灯籠に灯りを灯すイベントです。)</p>
目指すまちの姿 (ビジョン)	<p>「悠々の流れの中で、自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、人々の営みが循環・維持していくまち」</p> <p>あらゆる人が輝き、住民自らの手で作る屋久島スタイルのまちづくりを進めていきます。</p>	求める職員像	<p>①職員自らの責任において社会の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる人</p> <p>②多様化する住民のニーズを的確に捉え、限られた財源を有効に活用できる人</p>

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成29年度 / 一般職	令和元年 / 土木
志望した理由	<p>世界自然遺産「屋久島」に興味があり、大学時代、観光で初めて屋久島を訪れました。屋久島の大自然と、そのとき関わった人々のあたたかさに魅了されたこともあり、就職活動を行う中で選択肢の一つとして屋久島が入りました。資格もなく、特に夢もなかった私でしたが、「身近な人の役に立ちたい」「屋久島に住んでみたい」「屋久島町役場で働いてみたい」という思いが強く、志望しました。興味本位で志望し、縁あって就職できましたが、今後も屋久島町役場で働く予定です。</p>	<p>大好きな故郷へ帰りた！という思いが強く、その中で自分のこれまで学んできた土木工学や前職 (地方公務員) での経験等を存分に活かせる職を探したところ、屋久島町役場がぴったりだと感じたくて志望しました。</p> <p>地元のまちづくりに携わり20年後、30年後に多くの世代が住みやすいまちを作りたいと考えています。</p>
入ってみたいこんな職場	<p>心配していた人間関係については、もちろん職務中は役職や年齢など考慮していますが、悩んだときには気軽に相談でき、また助言も与えていただき、頼りになる上司・同僚ばかりです。町のイベントの役員や草刈りなど作業もあります。地区行事も楽しく参加できています。屋久島ならではの地域性のおかげでいろいろな経験ができ、人間関係も築くことができ、公私とも支えられています。また、令和元年に完成した、地杉がふんだんに使われた香り豊かな木造庁舎で、山や海を眺めながら気持ちよく仕事ができ、そんな環境で仕事ができることは幸せだなと感じています。</p>	<p>土木係では道路や河川・港湾といった社会基盤施設の維持管理をはじめ、農業施設、都市計画など多岐にわたる業務を取り扱っていることから、覚えなければならぬことがたくさんありますが、先輩方がしっかり支えてくれるおかげで何とかなっています (何とかして頂いております)。</p> <p>人数が少ないため「協力し合って皆で進めていこう」をモットーに他愛のない会話を織り交ぜながら日々の業務に動んでいます。</p>
仕事のやりがい (印象に残っていること)	<p>観光まちづくり課に配属され、新型コロナウイルス感染症に伴い観光事業者を対象とした給付金事務を通して観光立町としての「屋久島」を考えさせられ、終息に向かい観光PR活動を行う中で、屋久島の偉大さを観光客から改めて教えていただきました。その方々の思いや屋久島の不便さも含む様々な意見を基に観光パンフレットやポスター、PR動画などを制作し、屋久島の魅力として発信しています。役場の業務は、対住民の仕事もやりがいを感じますが、職種によっては島外の方々の繋がりがたくさんあり、屋久島をより多くの方に知っていただき、何か手助けができたり、感謝のお言葉をいただけることもやりがいの一つです。</p>	<p>私が最初に受け持ったのは砂利道に舗装を行う工事でした。複雑な工事ではありませんでしたが、受注業者や近隣の方とのやりとり・県への申請など慣れない作業に右往左往したことをよく覚えています。ですが、工事が無事完了しそれまでとは見違える道路が出来上がったときは大きな達成感がありました。今でもその道路を利用している人を見ると少し嬉しくなり、この仕事に携われてよかったと感じます。</p>
先輩職員からメッセージ	<p>私の仕事が住民のため、大好きな屋久島のためになること。思いが仕事を通じて反映され、直接「ありがとう」「助かりました」と言っていたら、「頑張ってた良かった」と達成感を味わうことができ、「もっとこうしたい」という活力になります。自然が好きな方は休みの日に登山をしたり、水のアクティビティを満喫でき、自分の時間を大事にしたい方や人との繋がりを大事にしたい方にもピッタリな場所です。屋久島で働いてみませんか♪</p>	<p>私たちの仕事は地図として記録に残り、ずっと先の未来まで残るまちや施設をつくります。屋久島町というまちを思い描くまちづくりや道路や河川、港湾整備 (維持管理) といったハード面での町造りに興味のある方はぜひ一緒に仕事をしましょう。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。</p>

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で快適な職場環境 令和元年に完成した地杉の製材を活用した美しい架構と香り漂う屋久島らしい空間で、心地よく働くことが可能です。また、安全で快適な職場環境を維持するため、産業医、衛生管理者による職場巡視を実施している他、健康診断の実施とその結果に基づく措置を行い、職員の健康維持・増進に努めています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	103.07
人口	1,624
男	796
女	828
世帯数	957

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	67
一般行政	52
教育	7
消防	0
公営企業等	8
平均年齢	43

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


(活気あふれる明るい職場です!!)

II 自治体の紹介

特徴・魅力	本村は、鹿児島県の南方383Km、奄美大島西部に位置しています。海抜694Kmの標高を持つ「湯湾岳」があり、この頂から太平洋と東シナ海に浮かぶ島々を望むことができます。頂上一帯の国有林の一部は昭和49年2月に国立公園に指定され貴重な動植物が群生しています。シマ(集落)は焼内湾の沿岸に沿って点在し、その入江は天然の良港として知られ、マグロ等の養殖が盛んに行われています。また、倉木崎の海底遺跡から出土した12世紀から13世紀の遺物から、古来中国交易船が往来する海上の要衝であったと思われる、歴史的にも重要な位置にあると想像されます。	主なイベント (年間行事)	年間通じて様々な行事がありますが、代表的なものを紹介します。 8月・9月…各集落豊年祭 (集落の安全や農作物の五穀豊穡を祈願する伝統行事です。豊年相撲や八月踊りなど多彩な催しが各集落で行われ大変盛り上がります。) 11月…宇検村やけうちどんと祭り (毎年8月に開催していましたが、令和6年度は11月に開催予定。保育園児や宇検村連合青年団の舞台発表、演歌ライブなど様々な催しが開催されます。また、夜空に咲く水中花火は必見です!!)
目指すまちの姿 (ビジョン)	宇検村(シマ)らしさ全開!をキャッチフレーズに 「ゼロカーボンプロジェクト」・「地域・ひと機能強化プロジェクト」・「住んでみたい村プロジェクト」を重点プロジェクトとし、「結いのこころ」のつながりや支えあい大切に、村民の参画と協働を推進することにより、すべての村民が安心して生き生きと暮らし、未来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長できる村を実現します。	求める職員像	①自らの役割を常に認識反省し、相互の融和と協調をはかり、積極的に業務の遂行に努める人 ②業務がより早く正しく行われるために、積極的にその改善に努める人 ③奉仕の精神のもと、公平かつ中立を守り、積極的に村民へのサービスに努める人 ④品位の保持向上をはかり、相互の人格を尊重し、積極的にによりよい業務環境の確立に努める人

III 先輩職員の声

	先輩職員①(行政職)	先輩職員②(技術職)
採用年度 / 職種	令和2年度 / 一般事務	令和6年度 / 保健師
志望した理由	生まれ育った故郷で働きたかったというのが一番の理由です。 一度故郷を離れ十数年が経った頃、故郷に帰り故郷のことをもっと知りたい、微力ではあるがより良い住民生活ができるようお手伝いがしたいという思いから役場を志望しました。	幼少期から高齢者に囲まれて育ったため、島の高齢者にずっと健康でいてほしいと思い、医療職を志しました。専門学校を卒業後、豊かな自然と、村長の明るい人柄、どんなことも楽しみながら前向きに頑張る村民性に惹かれ、宇検村を志望しました。
入ってみたら こんな職場	役所にはあまり行きたくない。行くと緊張する。そういった言葉を周りからよく聞きますし、自分でもそう思っていました。実際働く側になってみると、職場の環境はとてよく、職員同士のコミュニケーションもうまくとれています。窓口に来られるお客さんに対して緊張感や不安を与えてしまうようなことがないように職員全員が心がけています。	狭い地域で暮らす住民同士であるため職員同士のつながりも強く、とてもアットホームな職場です。また、住民との距離も近いので、些細なことでも相談しやすい存在であることが、宇検村役場の強みだと思います。保健師1年目でわからないこともあります。暖かい上司や先輩のおかげで日々頑張ることができています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	窓口業務に移動になって2年目。窓口は困りごとがあると一番立ち寄り場所です。できないことをできないと突き放すのではなく、少しでもできることがないか、できるようにするためにどうしたらいいかを常に考えるようになりました。困りごとが解決したとき、スムーズに事務処理が終了したとき、「ありがとう」「あなたがいてくれてよかった」「またよろしく」その言葉があるだけで自分のモチベーションに繋がっています。	保健福祉課では、妊婦から高齢者まですべての年代の住民を対象に事業を展開しています。それぞれ担当は分かれています。職員数が少ないため、乳幼児健診や介護予防教室、特定健診などの際は、係を越えて幅広い事業に何でも従事します。多くの住民と接することで、地域全体への理解が深まり、また、顔の見える関係づくりがよりよい保健事業活動へつながっています。
先輩職員から メッセージ	人口も少ない小さな村ですが、課題もたくさんあり少しでもより住みやすい村づくりができるよう職員も住民も一緒になって課題に取り組んでいます。子育てと仕事の両立もでき、職員同士でお互い助け合っ仕事ができる環境が整っていてとてもたのしく、安心してお仕事ができる職場です。	人も自然も、元気いっぱいな村です。宇検村らしさ全開!なこの村で一緒に働いてみませんか?

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○新規採用職員への研修 規採用職員研修では、公務員としての心構えや村職員として必要な基礎知識等が修得できます。その他、法制執務研修等の特別研修も充実しています。また、経験豊富な先輩方が、住民対応や困り事など真剣に相談のつてくれます。 ○柔軟な働き方 テレワーク(職員が居住している住宅等で勤務)環境も整備しており、支給条件を満たすと在宅勤務等手当が支給されます。 ○メンタルサポートも充実 メンタルヘルス業務を外部委託しており、電話やメール、ラインで気軽に相談できます。また、定期訪問時の面談の実施や、メンタルヘルス研修も行っていきます。 ○職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等に結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(5日)、夏季休暇(3日)、産前産後休暇、育児休業、看護休暇、介護休暇等取得できます。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、職員の勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	104.92
人口	10,067
男	5,020
女	5,047
世帯数	5,664

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	188
一般行政	144
教育	27
消防	0
公営企業等	17
平均年齢	38.7

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	本町は、鹿児島島の南南西452km、奄美群島で2番目に大きい徳之島の東面に位置するまちです。滝のタキシヤやソテツのトンネルなど自然に溢れ、コバルトブルーの海ではサーフィンなどのマリンスポーツ、そして約400年の歴史を持つ闘牛も盛んです。アマミノクロウサギをはじめとした希少な動植物の宝庫で、2021年7月には、奄美大島、沖縄県北部、西表島とともに世界自然遺産に登録されました。 また、令和6年4月に厚生労働省から公表された「平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計」にて、本町は「2.25」と最も高く、合計特殊出生率日本一となりました。	主なイベント (年間行事)	4月…黒砂糖まつり (ステージ発表に加え、牛の力でサトウキビを圧搾する昔ながらの製法「サタグンマ」の実演、出来たての黒糖の試食も楽しめます。) 8月…夏日踊り (井之川の集落にて「でんだらこ」の唄と踊り、太鼓で盛り上がり、徹夜で家々を回る行事。県指定無形民俗文化財に指定されています。) 10月…とんどん祭り (県道での闘牛やみこしのパレード、夜は屋台やステージ、大迫力の花火大会と見所満載のイベントです。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「We're OPEN ～みらい輝く、とくのしま町～」 新たな時代へのまちづくりでは、これまでにない新たな夢や目標が生まれ、アイデアに溢れ、世界に羽ばたく人材が育つ「みらい輝く」とくのしま町の実現を目指します。私たちの未来への扉は開かれ、全ての価値観や多様な考え方も受容され、誰もがそれぞれの個性と能力を発揮できる多様性 (ダイバーシティ) に富んだまちづくりを推進するため、本町の目指す将来像を「We're OPEN ～みらい輝く、とくのしま町～」とします。	求める職員像	・ 地域の状況を視野に入れ、町民と施策を語り合える職員 ・ 地域の課題を積極的に発言できる職員 ・ 町民の立場に立って物事を考え、行動できる職員 ・ 地域の特性を活かした自然や文化を伝承していく職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和2年度 / 一般事務	平成23年度 / 保健師
志望した理由	地元である徳之島町には幼いころからの思い出がたくさんあり、今までお世話になった方々もたくさんいます。今度はわたしが徳之島町に貢献したいと思い、老若男女いろんな人たちと関わることのできる役場職員を志望しました。	大学生の頃、生後数か月の姪を抱っこして散歩をしていました。その時に近所のおばあちゃんが、おくるみから姪の足が出ていることに気づき、おくるみの包み方を教えてくれた時に、ゆくゆくはこの島で子育てをしたいと思ったのを覚えています。 赤ちゃんからお年寄りまで、人と人とのつながりがあたたかく、自然も豊富な徳之島で保健師をしたいと思い、徳之島町で働きたいと思いました。
入ってみたいこんな職場	たくさんの課があるため、他課への異動があり、幅広い業務に携わります。そのため、いろんな職員と関わる機会があり、良好な人間関係が築けます。 また、異動で新しい仕事を覚えることは大変ですが、分らないことや困ったことがあると、わかりやすく指導してくれたり、一緒に問題を解決してくれたり、とても安心して和気あいあいと仕事をしています。	自分の担当する課の業務だけではなく、他課とも連携して専門職として以外の事業に参加することもあります。自分の視野が広がる機会が多々あり、日々とても勉強になります。 また、公務員としての業務はもちろんですが、町の行事やイベントにも参加します。いち地域住民として、先輩職員から後輩職員まで一丸となって地域での催しに参加するところがとても素敵な職場だと思います。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	先輩職員に教えていただいたことを一人でもできるようになったときに喜びを感じます。また、他課職員からの相談や質問も多いため、勉強は欠かせず、視野が広がっていくことで、自分自身のスキルアップにもつながります。 町の大きいイベントでは、担当課が中心となり、全職員一致団結します。町民の方々が喜ぶ顔を見るとやりがいを感じます。	保健センターで勤務していた時に、母子保健事業で療育支援をしていました。 お母さんと悩みながら、その子どもにとって一番良い支援とは何か考えながら関わっていました。 課を異動して直接の支援は終了したのですが、その後も入園・入学など節目の度に顔を見せに来てくれることがとてもうれしく思います。
先輩職員からメッセージ	役場は事務仕事が多いと思われがちですが、業務内容は様々で、常に新しいことにチャレンジできます。 楽しい仕事や自分に合った仕事ばかりではありませんが、困った時には助けてくれる優しい先輩がたくさんいる職場です。 皆さんで徳之島町をも盛り上げていきましょう！	徳之島町は庁舎内各課や関係機関、住民の方との連携も強く、どの分野においても地域全体で徳之島町を盛り上げていこうと取り組んでいます。若手職員だけでなく、どの年代においても活躍できる環境です。 また役場のイベントや地域の行事等もたくさんあり、とても楽しい職場です。 皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○仕事と生活の両立 年次有給休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	62.7
人口	6,202
男	3,133
女	3,069
世帯数	3,435

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	141
一般行政	109
教育	22
消防	0
公営企業等	10
平均年齢	39.9

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島から南へ約480キロメートルの洋上に浮かぶ徳之島の南西部に位置し、総面積が62.7平方キロメートルとなっている。町の北西部には標高417メートルの犬田布岳があり、比較的平坦地に恵まれ南へ向かって緩やかな傾斜をなしている。気温は年平均21.8℃と高く、高温多湿で亜熱帯海洋性気候に属している。本町の主な産業は農業で、サトウキビやパレイショを中心に、カボチャ等の野菜やマンゴー・パッションフルーツなどの亜熱帯果樹の栽培が盛んであり、畜産等を組み合わせた複合経営が行われている。	主なイベント (年間行事)	4月…海開き 5月…全島闘牛大会 10月…町民体育祭、全島闘牛大会 11月…ほーらい祭り、産業祭、文化祭 1月…全島闘牛大会
目指すまちの姿 (ビジョン)	「町民総参加のまちづくり」をスローガンに「人口増加と産業支援」「高齢者が安心して暮らし、子どもたちに誇れるまちづくり」「人材育成と企業支援」「透明性のある行政運営と地域の特色を生かした集落づくり」「農福連携による町民総活躍のまち」「環境にやさしいまちづくり」に向け、本町の基本理念として掲げる「誰1人取り残さない安心・安全なまちを目指す『町民総参加のまちづくり』」を目指します。	求める職員像	・ 町民のニーズを的確に把握し対応する職員 ・ 地域活動に積極的に加わり貢献する職員 ・ 親切目づ丁寧な接遇をする職員 ・ 町の長期的な展望と現状を把握し行政運営に取り組む職員 ・ 責任感を常に持ち真摯に諸問題に対応する職員 ・ 常に初心を忘れず、向上心を持ち続ける職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成29年4月 / 一般事務職	平成24年10月 / 保健師
志望した理由	30代・結婚・子育て等の人生の転機に差し掛かり、将来の生活を考え帰島しようと思いました。前職では、介護福祉士として働いており、業界の課題や矛盾等は、現場だけで解決する事は困難で他の業種の知識や協力が不可欠だと考えていた。行政で働くという事は、制度や地域の環境等での後方支援を行う事が出来、福祉に限らず全てに関わる事の出来る仕事であり、やりがいを感じ志望しました。	高校卒業後、進学のために一度は離れた徳之島。幼い頃から医療関係の仕事に魅力を感じ、家族や友人等の支えがあって夢を実現する事ができました。大好きな島、生まれ育った伊仙町に戻りたいという思いがずっとあり、専門学校卒業後、看護師経験を経て、十数年前に帰島しました。看護師経験を活かし、行政保健師として地元、伊仙町民の健康を支え、予防活動への取り組みに貢献したいと思い、志望しました。
入ってみたいこんな職場	行政では、数年で異動があり、異動前後で異なる分野の業務に関わります。最初は戸惑いもありましたが、様々な分野の知識や経験が得られる事は、行政ならではの特徴かなと思います。	経験豊富で尊敬する上司や先輩、明るい同僚に囲まれ、気軽に相談し合える環境が整っており、恵まれています。私自身も笑顔溢れる雰囲気の良い職場づくりを目指しています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	志望理由でもいったとおり、法律を整備し、実行する事に関わる事は、やりがいはずごく大きく、地域への影響も大きい業務になってきます。そのため、関係してくる法律も多岐にわたり、やればやるだけ課題や目標が出てきます。前向きに考えれば、常に成長し続ける機会に身をおけるやりがいのある仕事だなと感じています。	看護師として急性期医療に携わる中で、予防医療の重要性を実感し、病気になる前の段階から健康を支える保健師の仕事に、より魅力を感じるようになりました。保健師になり、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方が、住み慣れた島での生活が継続できるような地域づくりに携わる事ができ、嬉しく思います。また、日々の業務を通じて、自身の学びを深める事ができ、やりがいを感じています。
先輩職員からメッセージ	異動や目標・課題等つらい言葉かもしれませんが、様々な経験や知識を積み上げる事で、より出来る事の幅も広がる。そして少しずつ町が良くなれば、自分の生活する環境がより良い状態になるというような前向きなモチベーションがあれば、行政の業務はきっとやりがいを持っていただけると思います。皆さんが前職で培った経験や仕事に対する考え方は、町の業務においてもきっと生かせるし、町としても求めています。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。	地域保健に携わる中で、離島ならではの困難さを感じる事もありますが、小さな島だからこそ住民や関係機関等と顔の見える関係性が築け、多職種が連携できる環境は強みだと思っています。保健師という職種は専門性が高く、多方面に関する知識が必要となりますが、地域の方々と関わりを通じて、自分自身も成長できる仕事です。皆さんと一緒に働ける事を心待ちにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与や昇任等により結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。(男性の育樹休暇の取得実績もあり積極的に取得推進しています。夏季休暇は5日の取得が可能です。) ○給与 給与については、国家公務員に準ずる形であり、初任給については前職の経験も加味し、初任給を決定しております。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○勤務場所 勤務地は伊仙町役場他出先機関 (給食センター・歴史民俗資料館・ほーらい館) などがあります。役場本庁舎は、令和5年9月から新築となっており、綺麗で開放感のある空間となっております。
----------------	--